

「生活意識に関するアンケート調査」(第93回<2023年3月調査>)の結果

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く伺うよう努めており、その一環として、1993年以降、全国の満20歳以上の個人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに把握する一種の世論調査です。

<目次>

1. 要旨	2
1-1. 景況感等	2
1-2. 暮らし向き、消費意識	5
1-3. 物価に対する実感	12
1-4. 先行きの地価動向	16
1-5. 日本経済の成長力	17
1-6. 日本銀行の金融政策に関する認知度	18
1-7. 家計の決済行動	19
1-8. 税金や年金保険料の支払い方法に関する認知度等	24
2. 集計対象標本の属性分布	26
3. アンケート調査結果の詳細	27

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 2023年2月3日(金)~3月1日(水)
- ・ 調査対象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標本数 : 4,000人(有効回答者数1,981人<有効回答率49.5%>)
- ・ 抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調査方法 : 郵送調査法
(回答方式は、郵送回答又はインターネット回答の選択式)

<本件に関する照会先>

情報サービス局総務企画グループ
仙波、酒井(直通:03-3277-2405)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

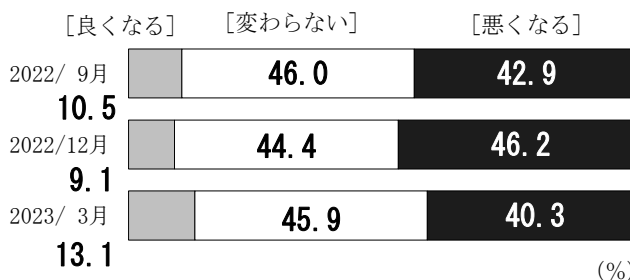
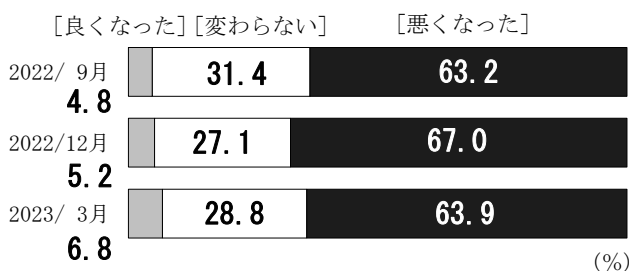
1-1-1. 景況感

景況感のうち、現在（1年前対比）については、「良くなった」との回答が増加し、「悪くなった」との回答が減少したことから、景況感D. I. は改善した。先行き（1年後）については、「良くなる」との回答が増加し、「悪くなる」との回答が減少したことから、景況感D. I. は改善した。

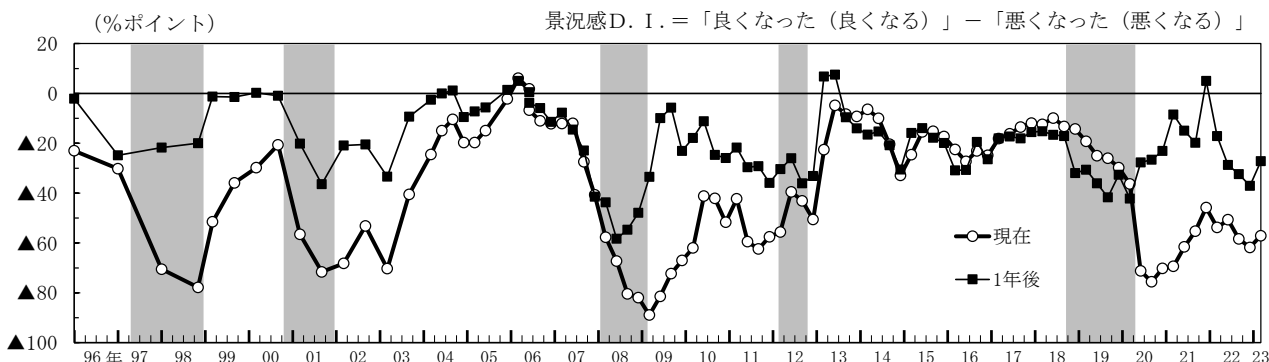
(図表1) 景況感 [Q1、4]

＜現在を1年前と比べると＞

＜1年後を現在と比べると＞



＜景況感D. I. の推移＞



	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3
現在の景況感 D. I. (前回比)	▲71.2 (▲34.9)	▲75.6 (▲4.4)	▲70.2 (+5.4)	▲69.4 (+0.8)	▲61.6 (+7.8)	▲55.3 (+6.3)	▲45.8 (+9.5)	▲53.8 (▲8.0)	▲50.7 (+3.1)	▲58.4 (▲7.7)	▲61.8 (▲3.4)	▲57.1 (+4.7)
1年後の景況感 D. I. (前回比)	▲27.7 (+14.5)	▲26.6 (+1.1)	▲23.1 (+3.5)	▲8.5 (+14.6)	▲14.9 (▲6.4)	▲19.8 (▲4.9)	5.0 (+24.8)	▲17.1 (▲22.1)	▲28.7 (▲11.6)	▲32.4 (▲3.7)	▲37.1 (▲4.7)	▲27.2 (+9.9)

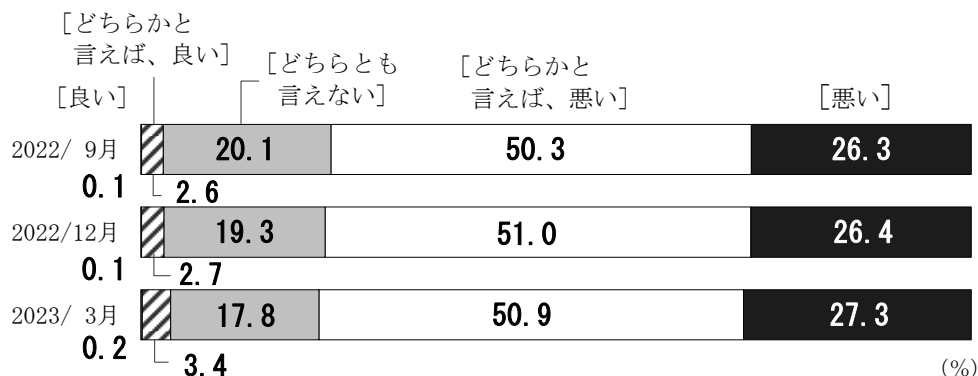
- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I. は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. 現在の景況感D. I. のピークは 6.1（2006/3月）、ボトムは ▲88.9（2009/3月）。
 1年後の景況感D. I. のピークは 7.5（2013/6月）、ボトムは ▲58.3（2008/6月）。
 5. シャド一部分は、景気後退期。

現在の景気水準は、『良い』^(注1)との回答が増加したものの、『悪い』^(注2)との回答も増加したことから、横ばいとなった。

(注1) 『良い』は「良い」と「どちらかと言えば、良い」の合計。

(注2) 『悪い』は「悪い」と「どちらかと言えば、悪い」の合計。

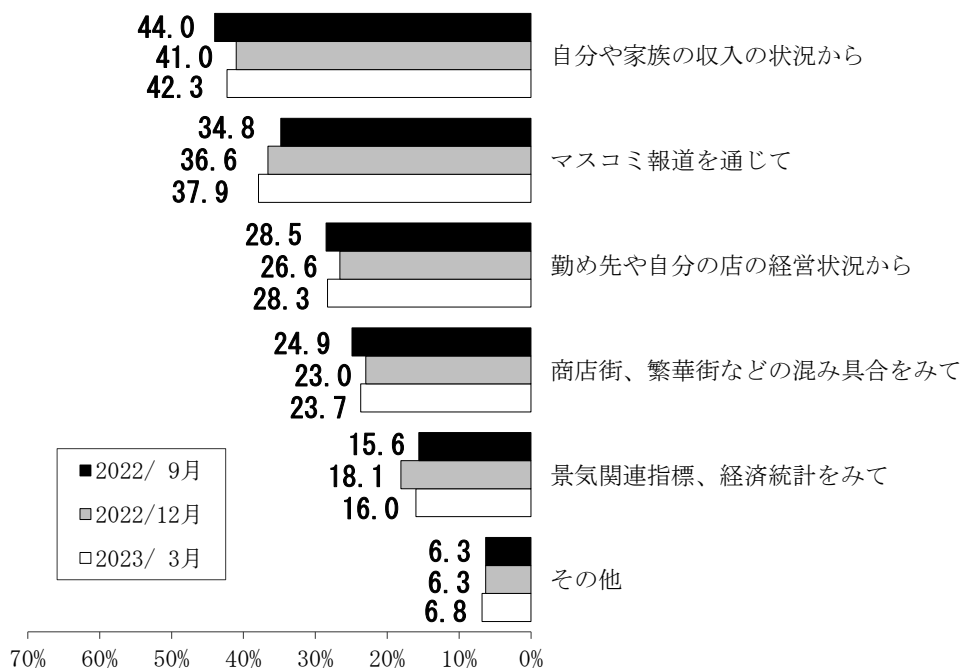
(図表2) 現在の景気水準 [Q3]



1-1-2. 景況判断の根拠

景況判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「マスコミ報道を通じて」、「勤め先や自分の店の経営状況から」といった回答が多かった。

(図表3) 景況判断の根拠 (2つまでの複数回答) [Q2]



1-1-3. 金利水準

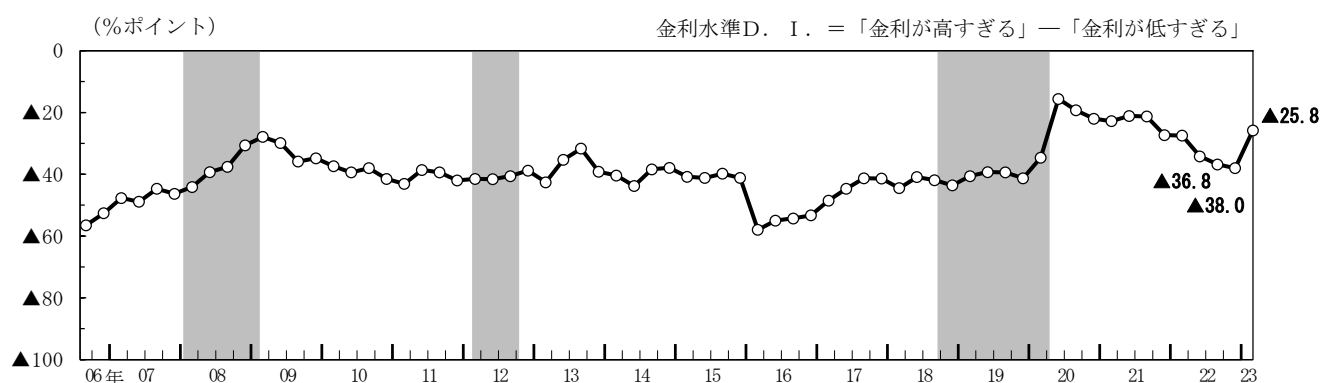
金利水準についての見方は、「金利が低すぎる」との回答が減少し、「金利が高すぎる」との回答が増加したことから、金利水準D. I. はマイナス幅が縮小した。

(図表 4) 金利水準についての見方 [Q5]

	[金利が低すぎる]	[適当な水準である]	[金利が高すぎる]
2022/ 9月	51.2	31.8	14.4
2022/12月	51.9	32.5	13.9
2023/ 3月	44.3	34.7	18.5

(%)

<金利水準D. I. の推移>



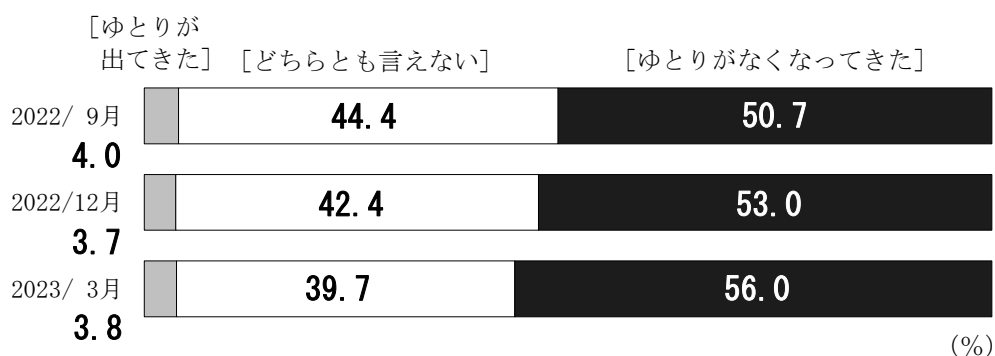
- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 金利水準D. I. のピークは ▲15.6 (2020/6月)、ボトムは ▲58.0 (2016/3月)。
 3. シャド一部分は、景気後退期。

1-2. 暮らし向き、消費意識

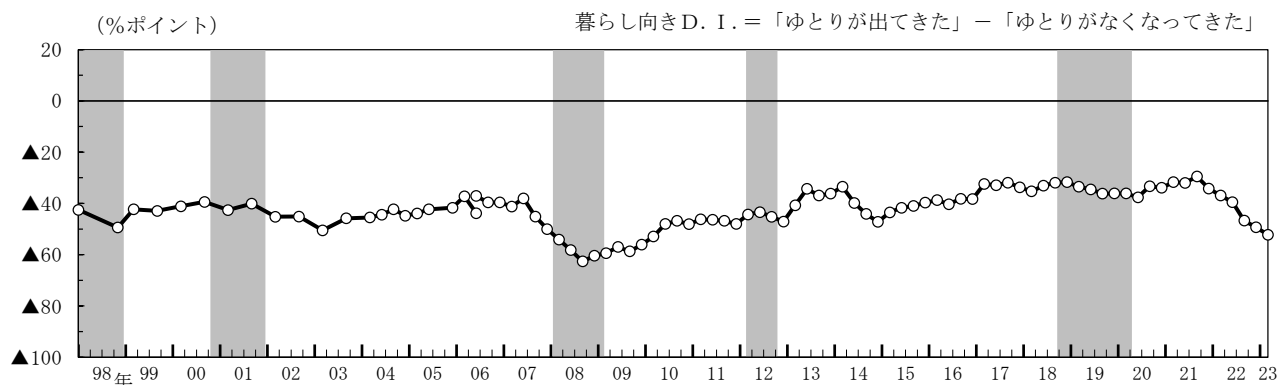
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりがなくなってきた」との回答が増加したことから、暮らし向きD. I. は悪化した。

（図表5）現在の暮らし向き〔Q6〕



<暮らし向きD. I. の推移>



	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3
暮らし向きD. I. (前回比)	▲37.6 (▲1.5)	▲33.3 (+4.3)	▲33.9 (▲0.6)	▲31.7 (+2.2)	▲32.0 (▲0.3)	▲29.5 (+2.5)	▲34.2 (▲4.7)	▲36.9 (▲2.7)	▲39.5 (▲2.6)	▲46.7 (▲7.2)	▲49.3 (▲2.6)	▲52.2 (▲2.9)

- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I. は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」 - 「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. 暮らし向きD. I. のピークは ▲29.5（2021/9月）、ボトムは ▲62.6（2008/9月）。
 5. シャドー部分は、景気後退期。

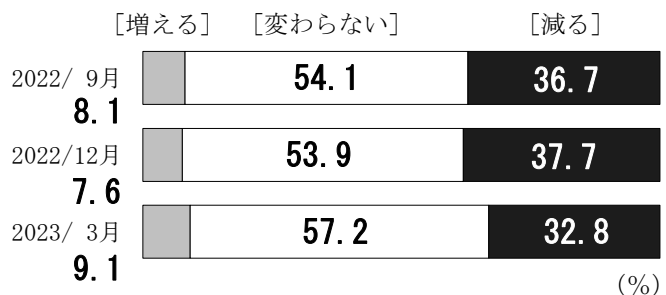
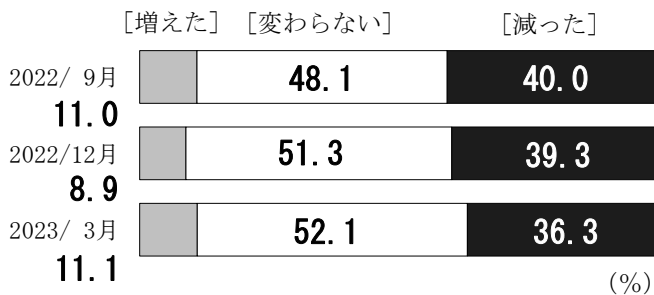
1-2-2. 収入・支出

収入については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が増加し、「減った」との回答が減少したことから、現在の収入D. I. はマイナス幅が縮小した。先行き（1年後）については、「増える」との回答が増加し、「減る」との回答が減少したことから、1年後の収入D. I. はマイナス幅が縮小した。

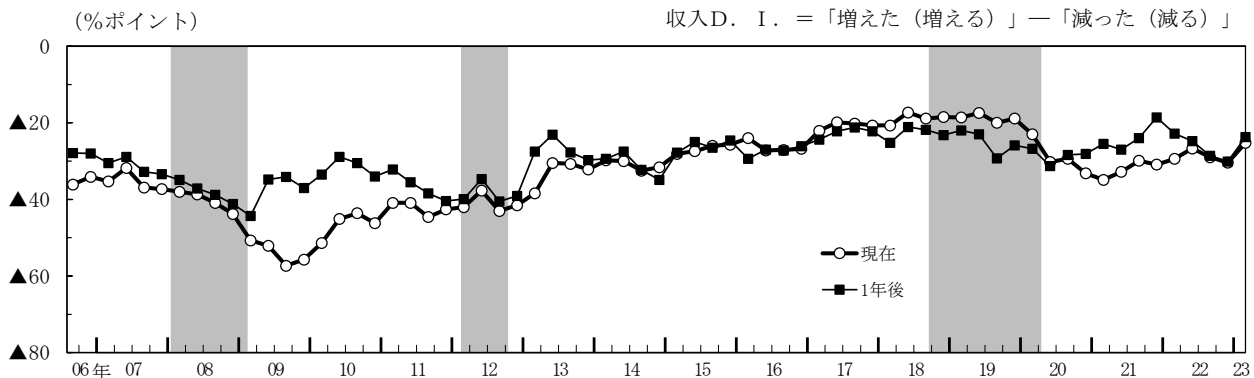
(図表6) 収入 [Q7、8]

<現在を1年前と比べると>

<1年後を現在と比べると>



<収入D. I. の推移>



	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3
現在の収入 D. I. (前回比)	▲30.2 (▲7.2)	▲29.4 (+0.8)	▲33.2 (▲3.8)	▲34.9 (▲1.7)	▲32.8 (+2.1)	▲29.9 (+2.9)	▲30.9 (▲1.0)	▲29.4 (+1.5)	▲26.7 (+2.7)	▲29.0 (▲2.3)	▲30.4 (▲1.4)	▲25.2 (+5.2)
1年後の収入 D. I. (前回比)	▲31.3 (▲4.5)	▲28.4 (+2.9)	▲28.1 (+0.3)	▲25.5 (+2.6)	▲27.0 (▲1.5)	▲24.0 (+3.0)	▲18.6 (+5.4)	▲22.8 (▲4.2)	▲24.8 (▲2.0)	▲28.6 (▲3.8)	▲30.1 (▲1.5)	▲23.7 (+6.4)

(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。

2. 現在の収入D. I. のピークは ▲17.3 (2018/6月)、ボトムは ▲57.3 (2009/9月)。

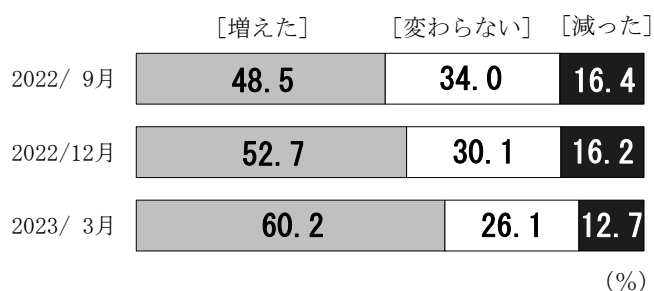
1年後の収入D. I. のピークは ▲18.6 (2021/12月)、ボトムは ▲44.3 (2009/3月)。

3. シャド一部分は、景気後退期。

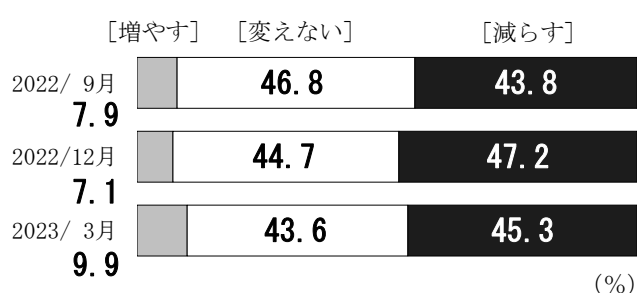
支出については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が増加し、「減った」との回答が減少したことから、現在の支出D. I. はプラス幅が拡大した。先行き（1年後）は、「増やす」との回答が増加し、「減らす」との回答が減少したことから、1年後の支出D. I. はマイナス幅が縮小した。

(図表7) 支出 [Q9、11(1)]

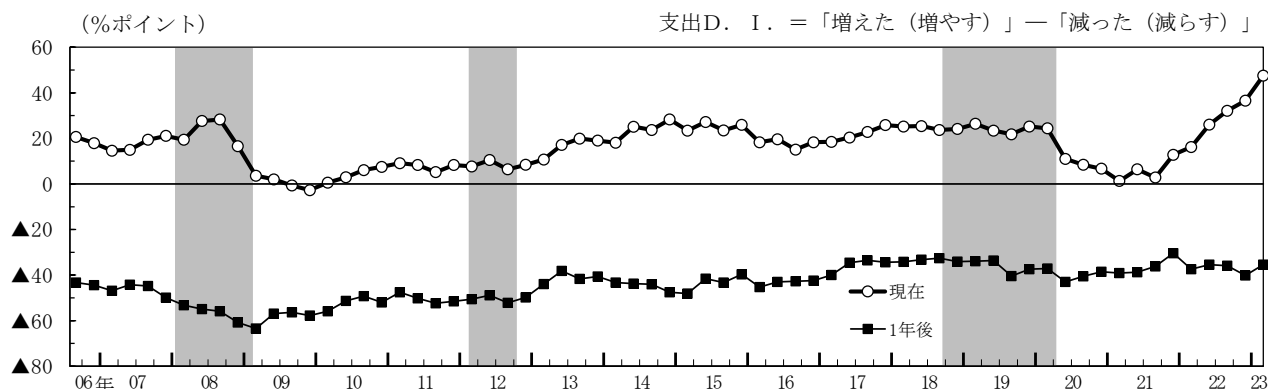
<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>



<支出D. I. の推移>

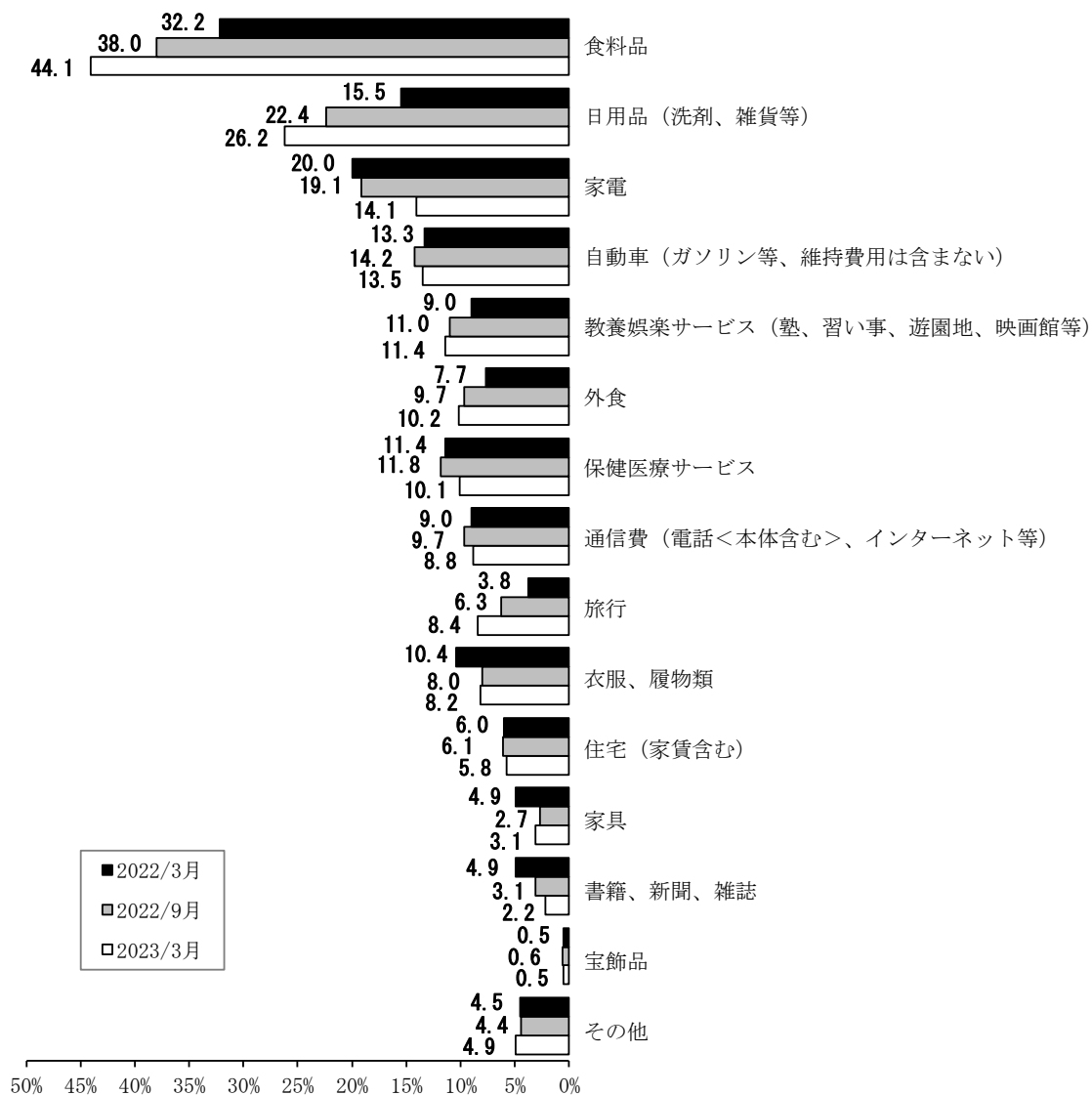


	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3
現在の支出 D. I. (前回比)	11.0 (▲13.4)	8.4 (▲2.6)	6.7 (▲1.7)	1.3 (▲5.4)	6.4 (+5.1)	2.8 (▲3.6)	12.8 (+10.0)	16.2 (+3.4)	26.0 (+9.8)	32.1 (+6.1)	36.5 (+4.4)	47.5 (+11.0)
1年後の支出 D. I. (前回比)	▲43.0 (▲5.9)	▲40.5 (+2.5)	▲38.5 (+2.0)	▲39.1 (▲0.6)	▲38.7 (+0.4)	▲36.2 (+2.5)	▲30.4 (+5.8)	▲37.4 (▲7.0)	▲35.4 (+2.0)	▲35.9 (▲0.5)	▲40.1 (▲4.2)	▲35.4 (+4.7)

- (注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
 2. 現在の支出D. I. のピークは 47.5 (2023/3月)、ボトムは ▲2.7 (2009/12月)。
 1年後の支出D. I. のピークは ▲30.4 (2021/12月)、ボトムは▲63.4 (2009/3月)。
 3. シャドー部分は、景気後退期。

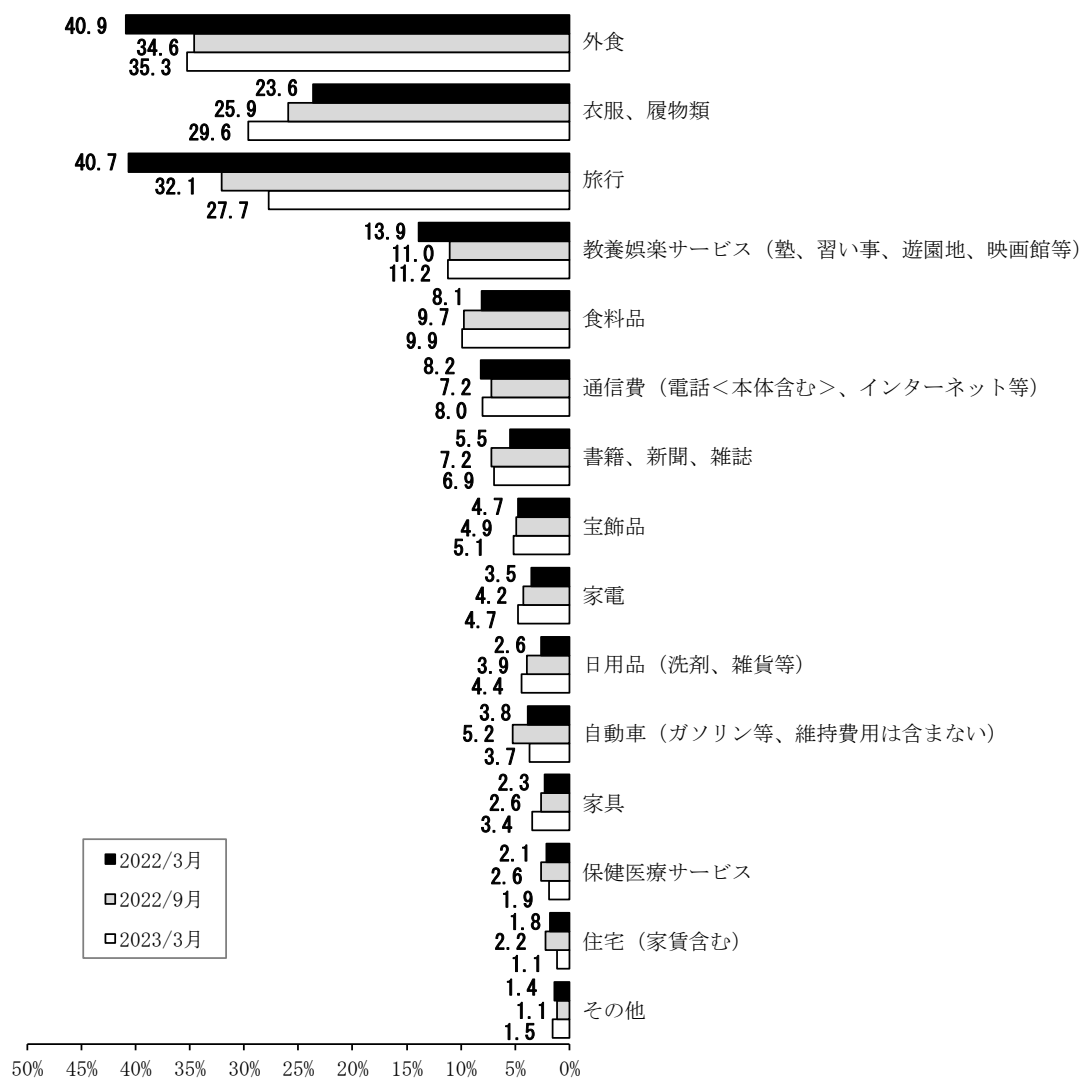
1年前と比べて、支出を増やしたものについては、「食料品」との回答が最も多く、次いで「日用品（洗剤、雑貨等）」、「家電」が多かった。

(図表8) 1年前と比べて支出(金額)を増やしたもの(3つまでの複数回答)[Q21(1)]



1年前と比べて、支出を減らしたものについては、「外食」との回答が最も多く、次いで「衣服、履物類」、「旅行」が多かった。

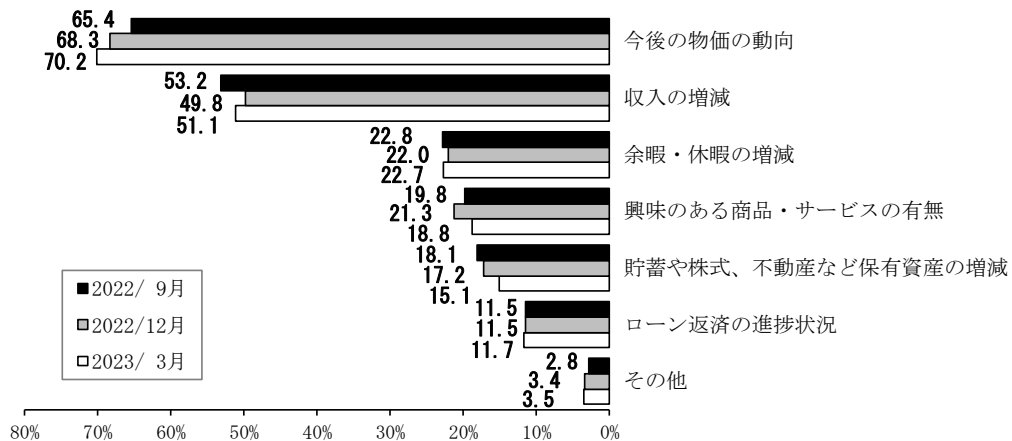
(図表9) 1年前と比べて支出(金額)を減らしたもの(3つまでの複数回答)
[Q22(1)]



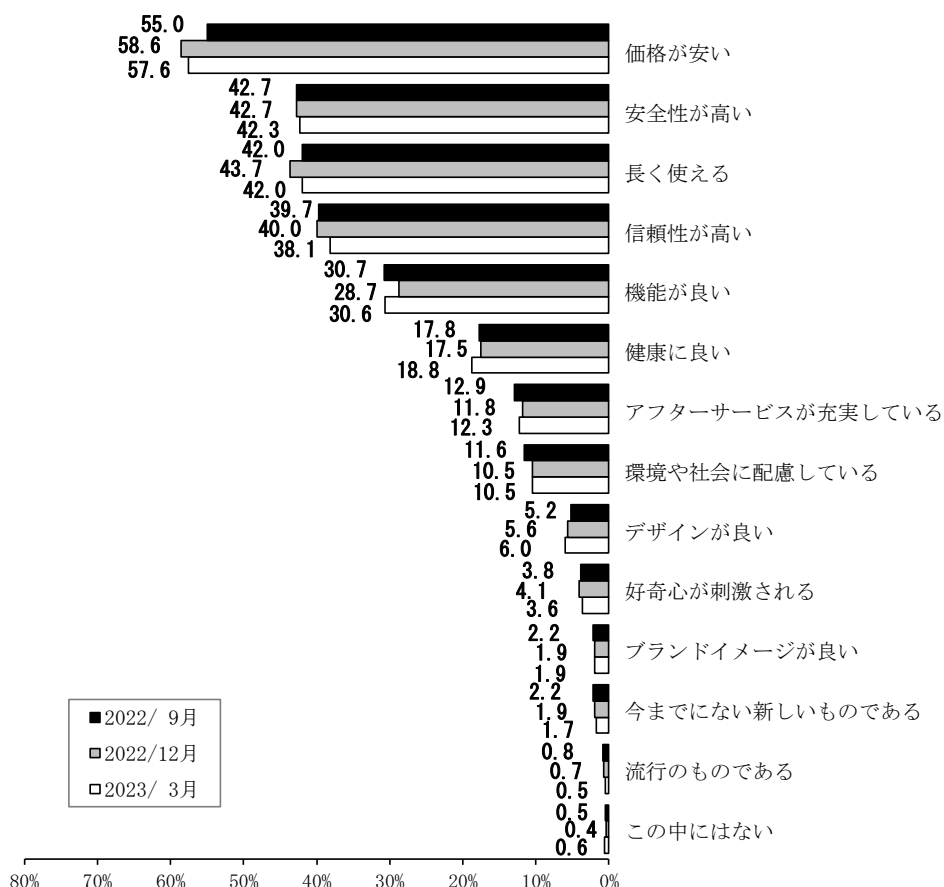
今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、「今後の物価の動向」との回答が最も多く、次いで「収入の増減」、「余暇・休暇の増減」といった回答が多かった。

商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、「価格が安い」との回答が最も多く、次いで「安全性が高い」、「長く使える」、「信頼性が高い」、「機能が良い」といった回答が多かった。

(図表10) 今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視すること(複数回答)
[Q11(2)]



(図表11) 今後1年間、商品やサービスを選ぶ際に特に重視すること
(3つまでの複数回答)[Q11(3)]

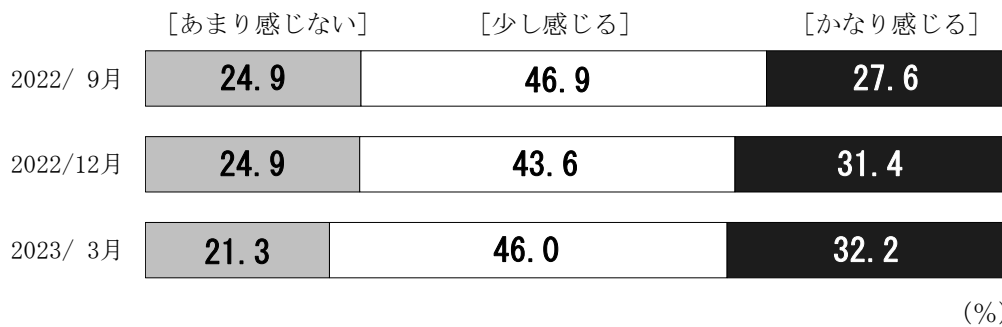


1-2-3. 雇用環境

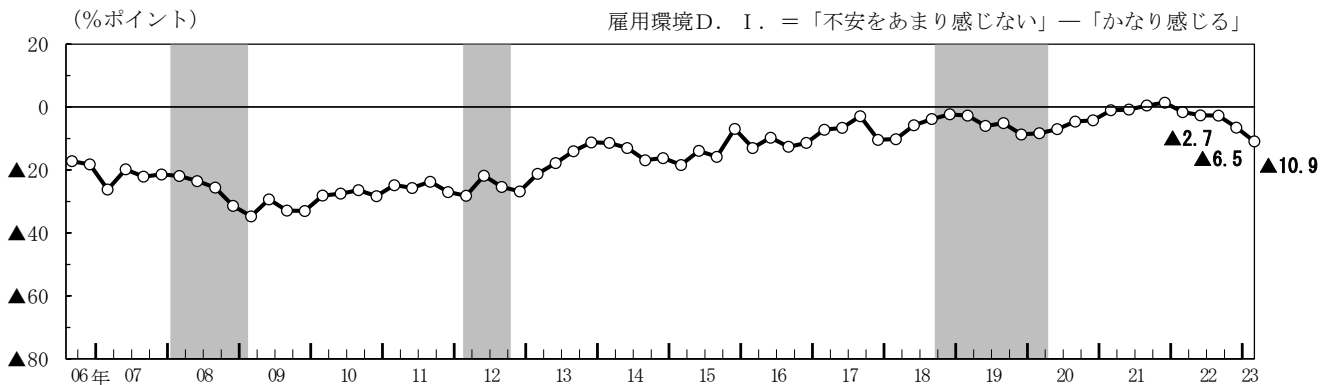
1年後を見た勤労者^(注)の勤め先での雇用・処遇の不安については、「あまり感じない」との回答が減少し、「かなり感じる」との回答が増加したことから、雇用環境D. I. は悪化した。

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

(図表12) 1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）
〔Q20のうち勤労者＞〕



<雇用環境D. I. の推移>



- (注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 雇用環境D. I. のピークは 1.4 (2021/12月)、ボトムは ▲34.7 (2009/3月)。
3. シャド一部分は、景気後退期。

1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1)に対する実感（1年前対比）は、『上がった』^(注2)と回答した人の割合が9割台半ばとなった。

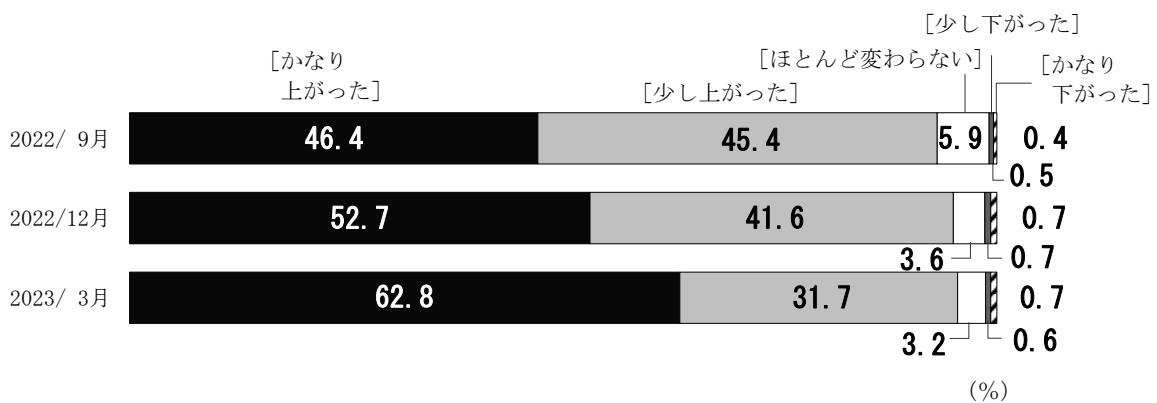
1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+14.6%（前回：+12.1%）、中央値は+10.0%（前回：+10.0%）となった。

（注1）「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

（注2）『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

（図表13）現在の物価に対する実感〔Q12、13〕

＜現在を1年前と比べると＞

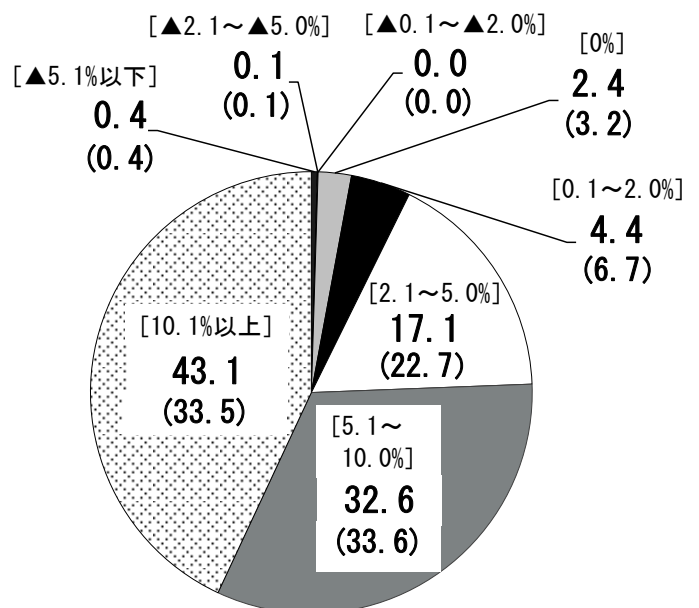


＜1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか＞

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/9月	+10.3%	+10.0%
22/12月	+12.1%	+10.0%
23/3月	+14.6%	+10.0%

（注）1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+15.1%（前回調査<2022/12月実施>：+12.9%）。
 2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞（百分比）
 （ ）内は前回調査（2022/12月実施）の結果



1-3-2. 1年後の物価

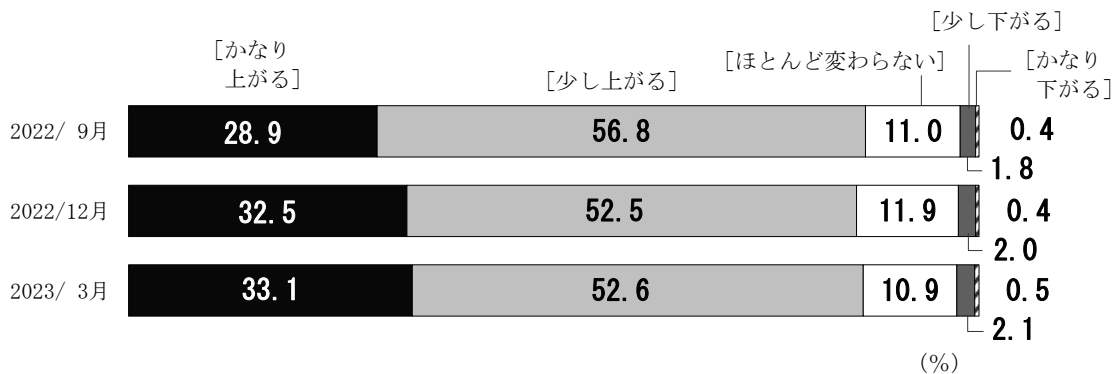
1年後の物価については、『上がる』^(注)と回答した人の割合が8割台半ばとなった。

1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+11.1%（前回：+9.7%）、中央値は+10.0%（前回：+10.0%）となった。

（注）『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

（図表14）1年後の物価に対する見方〔Q14、15〕

＜1年後を現在と比べると＞



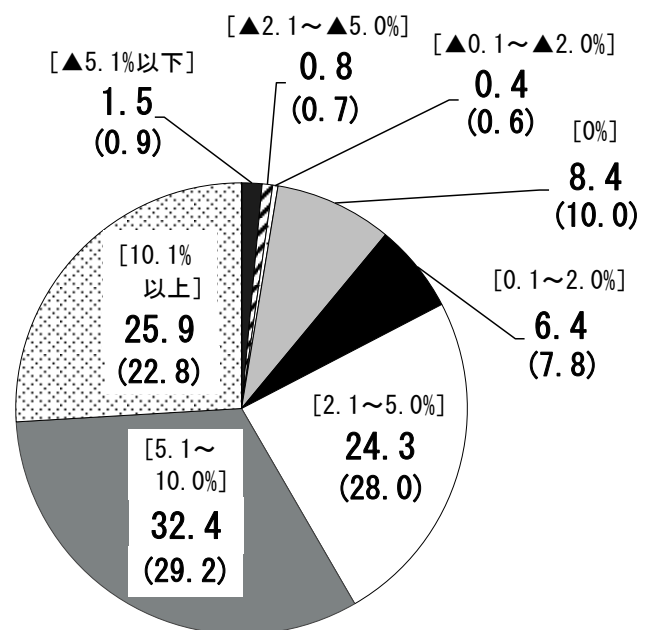
＜1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか＞

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/ 9月	+ 8.5 %	+ 5.0 %
22/12月	+ 9.7 %	+10.0 %
23/ 3月	+11.1 %	+10.0 %

- （注）1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+11.5%（前回調査<2022/12月実施>：+10.5%）。
2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞（百分比）

（ ）内は前回調査（2022/12月実施）の結果



1-3-3. 5年後の物価

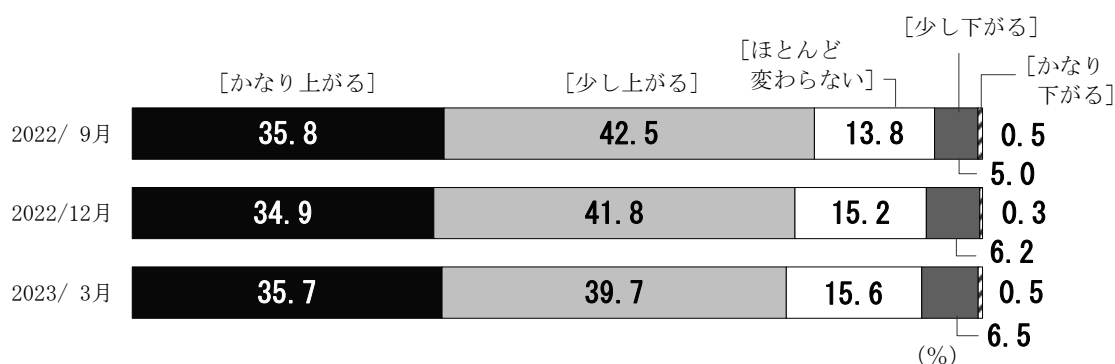
5年後の物価については、『上がる』^(注)と回答した人の割合が7割台半ばとなった。

これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+8.1%（前回：+7.5%）、中央値は+5.0%（前回：+5.0%）となった。

(注)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(図表15) 5年後の物価に対する見方 [Q16、17]

<5年後の見通し>



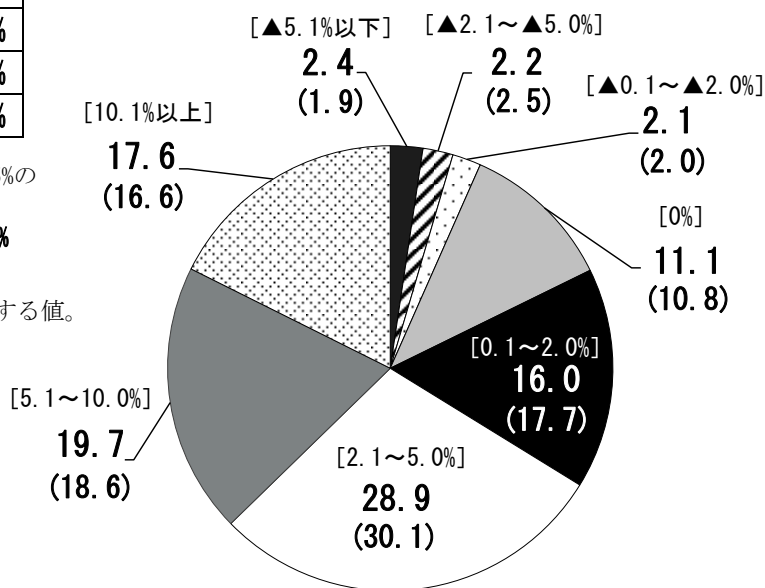
<5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/ 9月	+ 6.7 %	+ 5.0 %
22/12月	+ 7.5 %	+ 5.0 %
23/ 3月	+ 8.1 %	+ 5.0 %

(注) 1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+8.6%
 (前回調査<2022/12月実施> : +8.5%)。

2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布> (百分比) ()内は前回調査(2022/12月実施)の結果

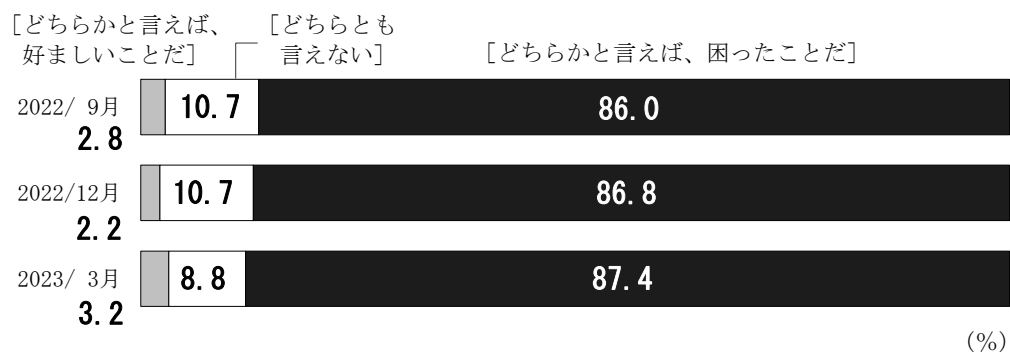


1-3-4. 物価上昇についての感想

1年前と比べて物価が『上がった』^(注)と答えた人(9割台半ば)に、その感想を聞くと、8割台後半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

(注)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(図表16) 物価上昇についての感想 [Q12-a]



1-4. 先行きの地価動向

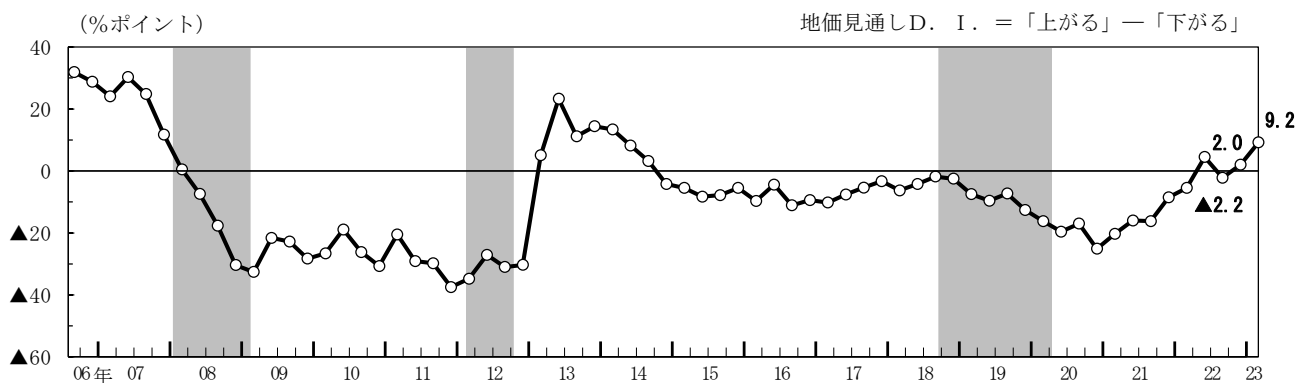
先行きの地価については、「上がる」との回答が増加し、「下がる」との回答が減少したことから、地価見通しD. I. はプラス幅が拡大した。

(図表 17) 先行きの地価動向に対する見方 [Q18]

	[上がる]	[変わらない]	[下がる]
2022/ 9月	26.5	42.1	28.7
2022/12月	28.9	42.9	26.9
2023/ 3月	32.8	41.8	23.6

(%)

<地価見通しD. I. の推移>

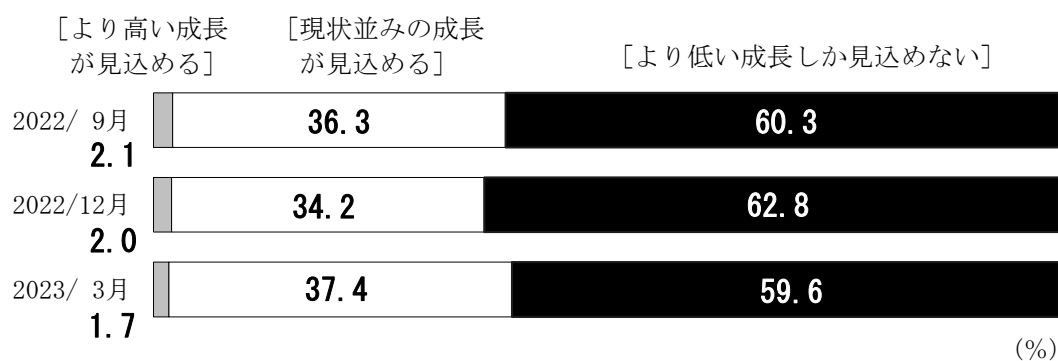


- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 地価見通しD. I. のピークは 31.9 (2006/9月)、ボトムは ▲37.5 (2011/12月)。
 3. シャド一部分は、景気後退期。

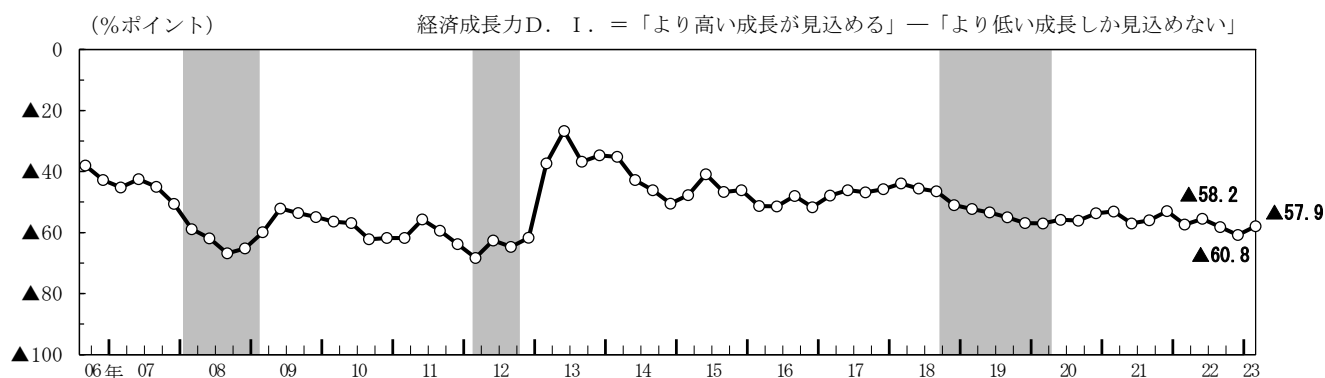
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「より低い成長しか見込めない」との回答が減少したことから、経済成長力D. I. はマイナス幅が縮小した。

(図表 1 8) 日本経済の成長力に対する見方 [Q19]



<経済成長力D. I. の推移>



- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 経済成長力D. I. のピークは ▲26.7 (2013/6月)、ボトムは ▲68.3 (2012/3月)。
 3. シャド一部分は、景気後退期。

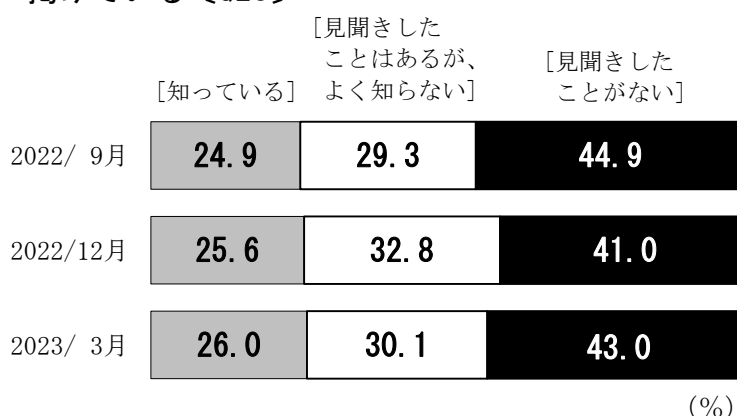
1-6. 日本銀行の金融政策に関する認知度

日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げていることについては、「知っている」との回答が2割台後半となった。

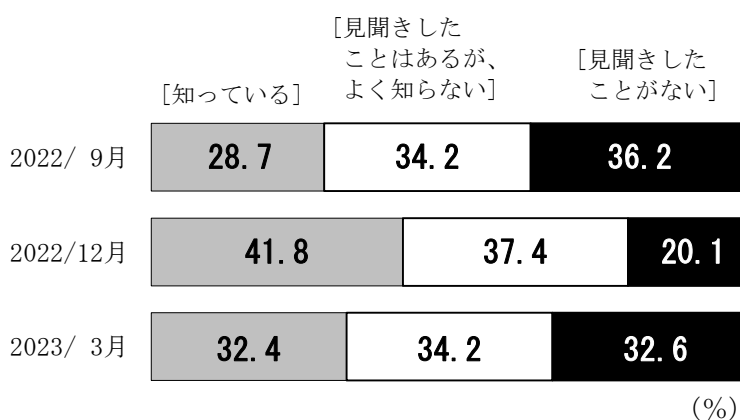
積極的な金融緩和を行っていることについては、「知っている」との回答が3割台前半となった。

「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っていることについては、「知っている」との回答が1割台後半となった。

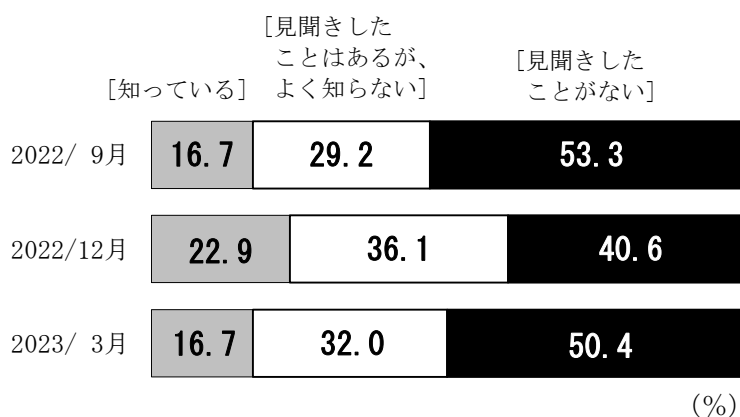
(図表19) 日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げている〔Q28〕



(図表20) 上記目標実現のため、日本銀行が積極的な金融緩和を行っている〔Q29〕



(図表21) 具体的には、現在、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っている〔Q30〕



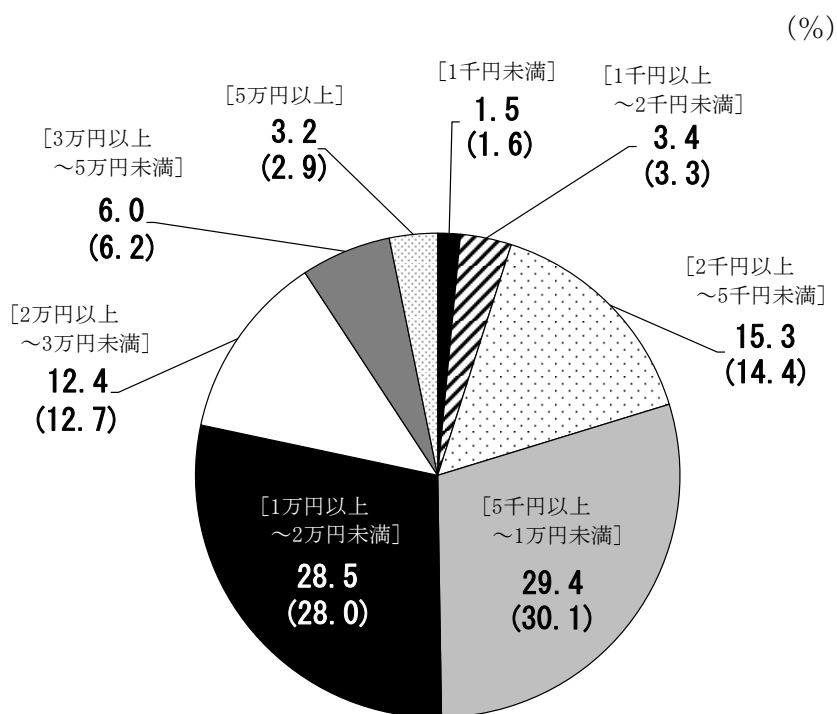
1-7. 家計の決済行動

1-7-1. 現金と現金以外の支払い手段の利用状況

平均的にみて財布にはどれぐらいの現金を入れているかを尋ねたところ、「5千円以上～1万円未満」との回答が最も多く、次いで「1万円以上～2万円未満」、「2千円以上～5千円未満」が多かった。

(図表 2 2) 平均的な現金所持金額 [Q23]

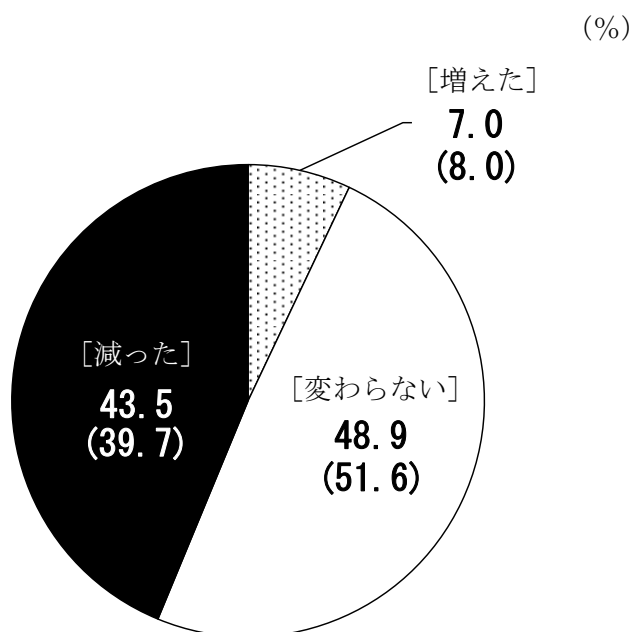
()内は2022/9月調査の結果



現金利用頻度の変化を、半年前（2022年8月～9月頃）対比で尋ねたところ、「変わらない」と回答した人の割合は4割台後半となり、「減った」と回答した人の割合は4割台前半となった。

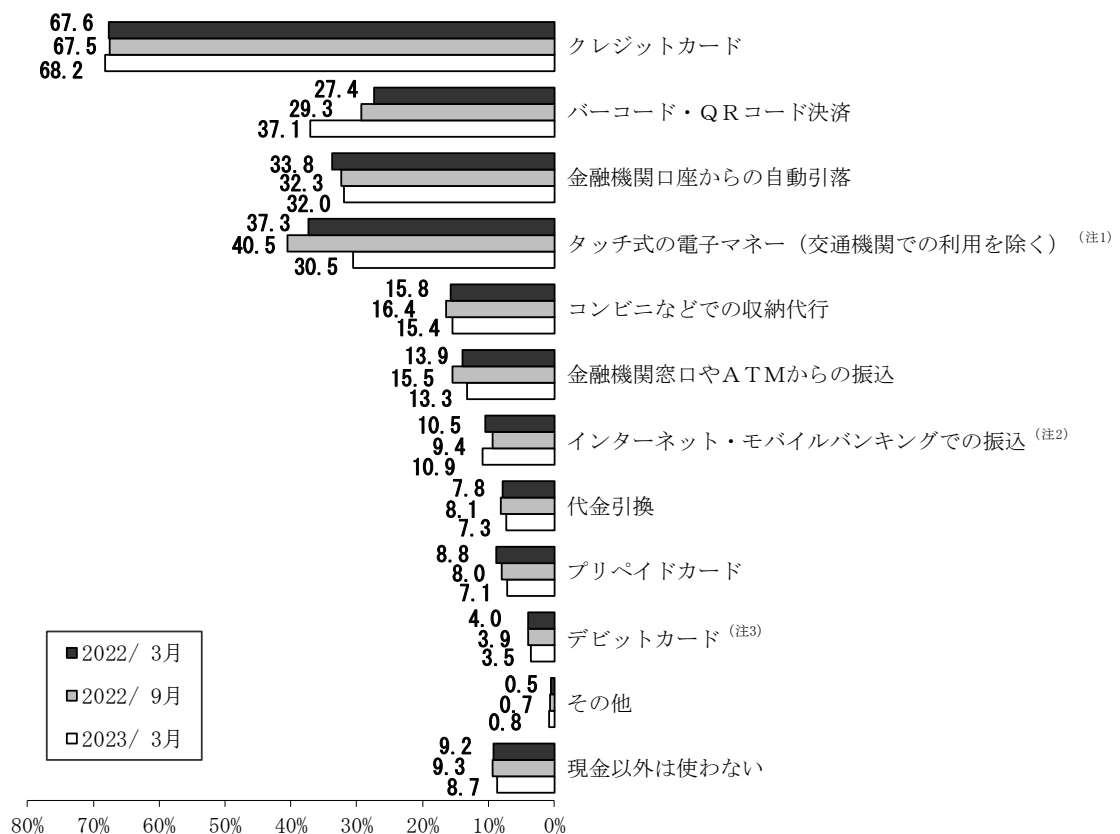
（図表 2 3）半年前（2022年8月～9月頃）と比べた現金利用頻度の変化〔Q24〕

（ ）内は2022/9月調査の結果



日常生活で利用する現金以外の決済手段を尋ねたところ、「クレジットカード」との回答が最も多く、次いで「バーコード・QRコード決済」、「金融機関口座からの自動引落」、「タッチ式の電子マネー（交通機関での利用を除く）」が多かった。

(図表 2 4) 現金以外の決済手段の利用状況 (複数回答) [Q25]



(注1) 2022年3・9月調査の選択肢は「電子マネー（読み取り機をタッチするもので交通機関での利用を除く）」。

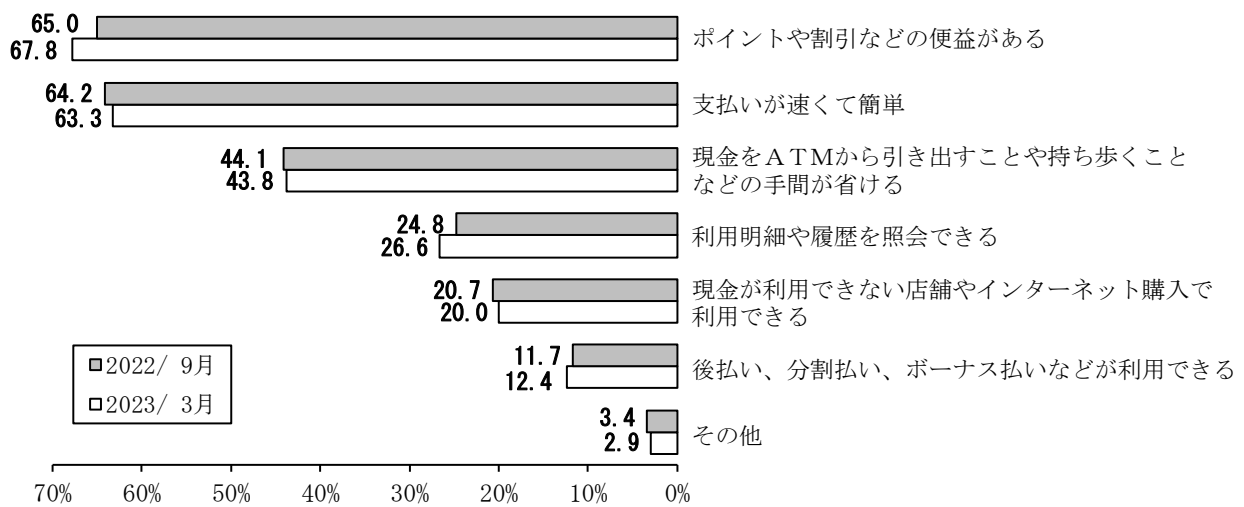
(注2) パソコンや携帯電話・スマートフォン（含むアプリ）を用いて受けられる銀行の振込サービス。

(注3) 買い物等の際、銀行で発行されたカードを提示して支払うと、預金口座から支払代金がすぐに引き落とされる仕組み。

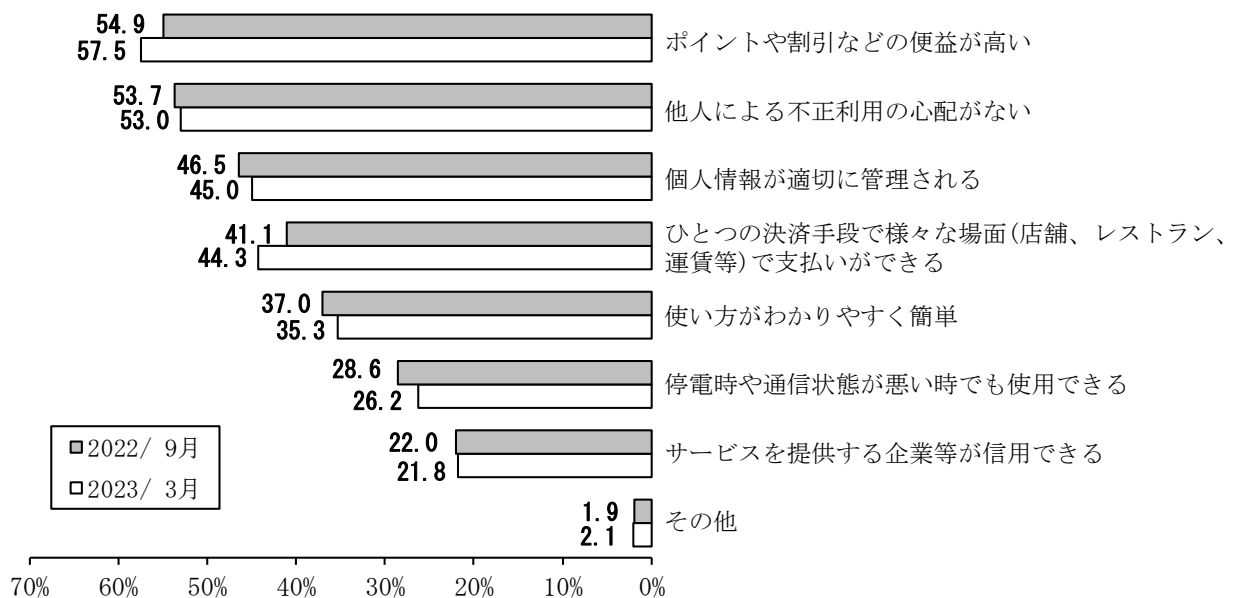
現金以外の決済手段を利用すると答えた人に、利用する理由を尋ねると、「ポイントや割引などの便益がある」との回答が最も多く、次いで「支払いが速くて簡単」、「現金をATMから引き出すことや持ち歩くことなどの手間が省ける」が多かった。

また、現金以外の決済手段について、今後、希望する改善点を尋ねたところ、「ポイントや割引などの便益が高い」との回答が最も多く、次いで「他人による不正利用の心配がない」、「個人情報適切に管理される」が多かった。

(図表 2 5) 現金以外の決済手段を利用する理由 (複数回答) [Q25-a]

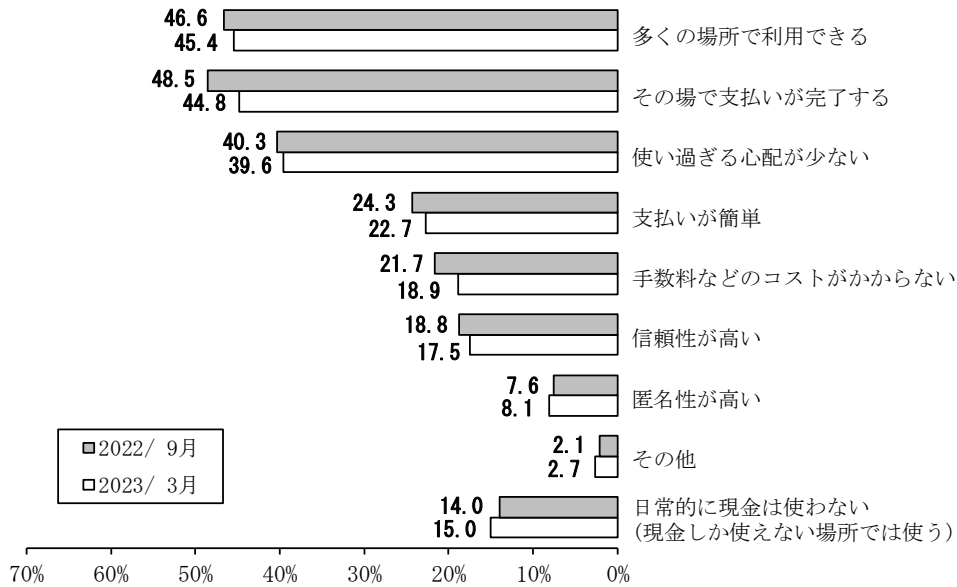


(図表 2 6) 現金以外の決済手段に希望する改善点 (複数回答) [Q25-b]



日常生活の支払いに現金を利用する理由については、「多くの場所で利用できる」との回答が最も多く、次いで「その場で支払いが完了する」、「使い過ぎる心配が少ない」が多かった。

(図表 2 7) 日常生活の支払いに現金を利用する理由 (複数回答) [Q26]

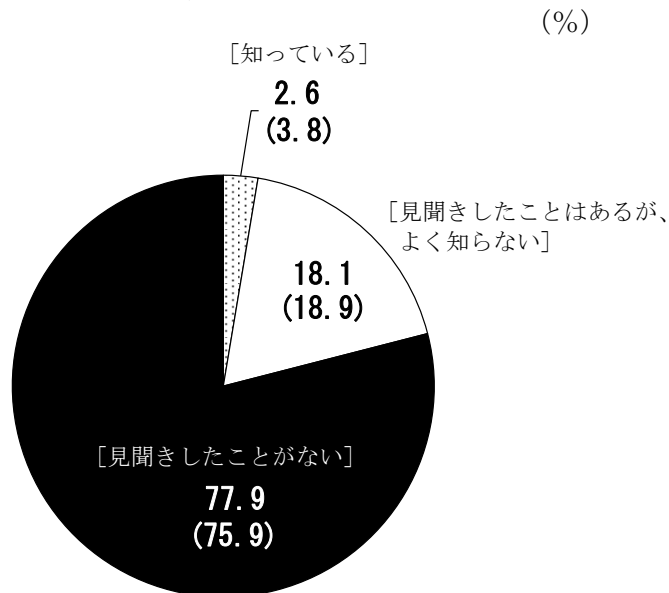


1-7-2. 中央銀行デジタル通貨 (CBDC) に関する認知度

中央銀行デジタル通貨 (CBDC) という言葉については、「見聞きしたことがない」との回答が7割台後半となり、「見聞きしたことはあるが、よく知らない」との回答が1割台後半となった。

(図表 2 8) 中央銀行デジタル通貨 (CBDC) に関する認知度 [Q27]

()内は2022/9月調査の結果

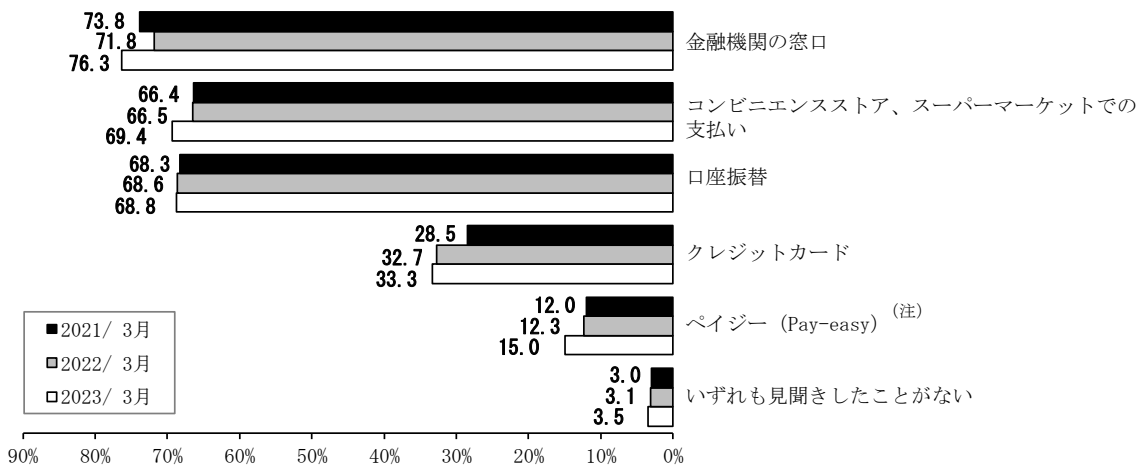


1-8. 税金や年金保険料の支払い方法に関する認知度等

1-8-1. 税金や年金保険料の支払い方法の認知度

税金や年金保険料の支払い方法の認知度については、「金融機関の窓口」との回答が最も多く、次いで「コンビニ、スーパーでの支払い」、「口座振替」が多かった。

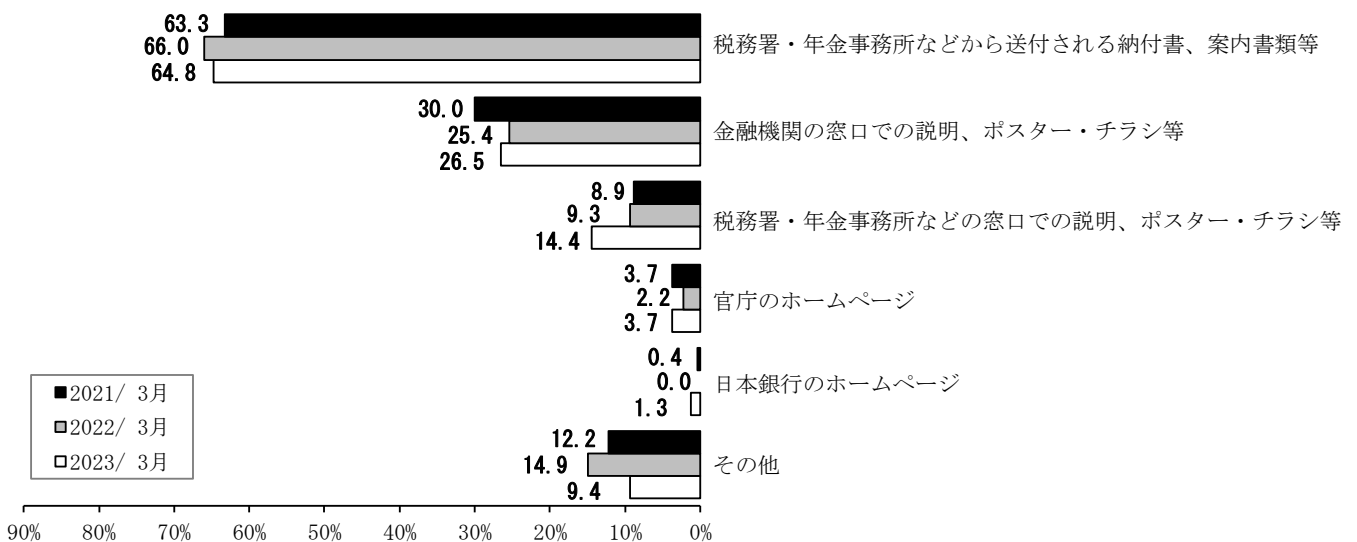
(図表 29) 税金や年金保険料の支払い方法に関する認知度 (複数回答) [Q31]



(注) ペイジー (Pay-easy) とは、税金・年金保険料・公共料金・各種料金などの支払いをパソコン・スマートフォン・ATMから支払うことができるサービス。

ペイジー (Pay-easy) を知った機会・媒体については、「税務署・年金事務所などから送付される納付書、案内書類等」との回答が最も多く、次いで「金融機関の窓口での説明、ポスター・チラシ等」、「税務署・年金事務所などの窓口での説明、ポスター・チラシ等」が多かった。

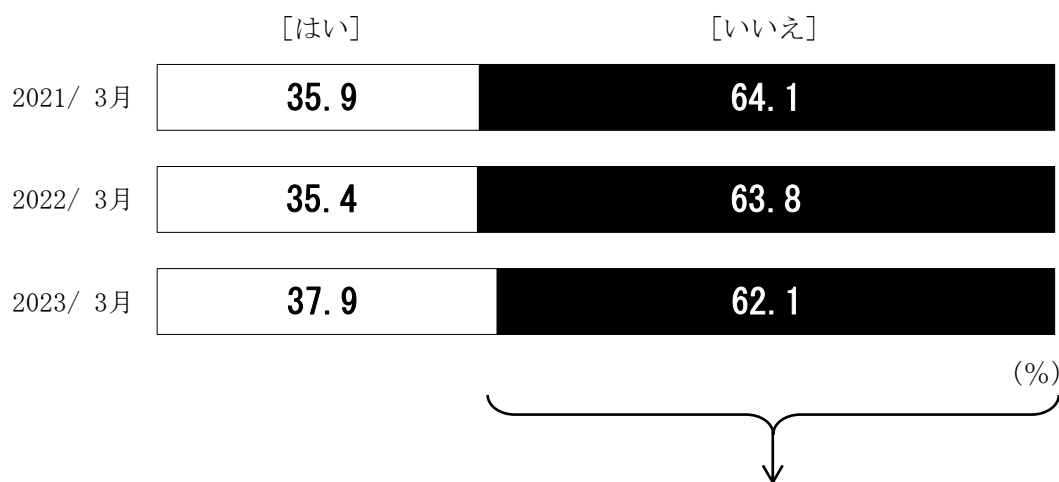
(図表 30) ペイジー (Pay-easy) を知った機会・媒体 (複数回答) [Q31-a]



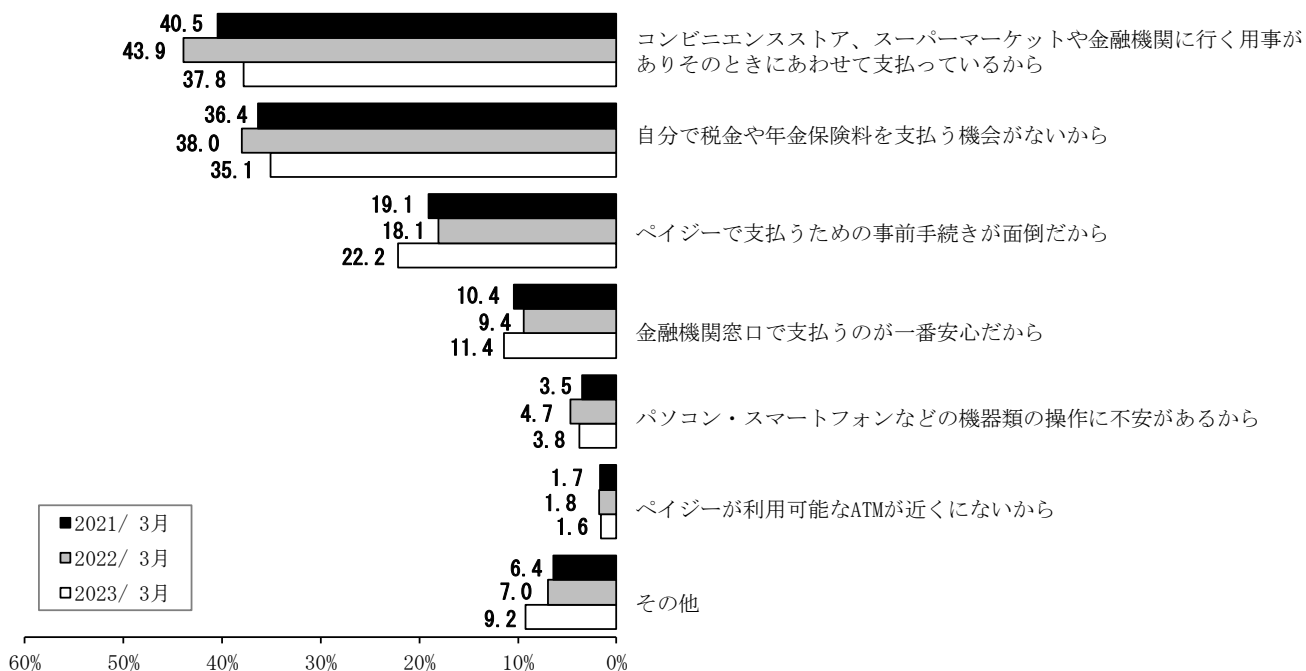
1-8-2. ペイジー (Pay-easy) の利用状況

「ペイジー (Pay-easy) を知っている」と答えた人 (1 割台半ば) の中で、「ペイジー (Pay-easy) を利用したことがある」との回答は、3 割台後半となった。「ペイジー (Pay-easy) を利用したことがない」と答えた人に、その理由を聞くと、「コンビニ、スーパーや金融機関に行く用事がありそのときにあわせて支払っているから」、「自分で税金や年金保険料を支払う機会がないから」、「ペイジーで支払うための事前手続きが面倒だから」との回答が多かった。

(図表 3 1) ペイジー (Pay-easy) の利用の有無 (Pay-easyを知っている人) [Q31-b]



(図表 3 2) ペイジー (Pay-easy) を利用しない理由 (複数回答) [Q31-c]



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：％、母集団対比：％ポイント)

	2023/3月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本
--	------------------	---------------------------	--------------------	------

(性別構成)

男 性	48.5	48.3	0.2	50.0
女 性	51.5	51.7	▲ 0.2	50.0

(年齢別構成)

20～29歳	7.9	11.6	▲ 3.7	10.9
30～39歳	14.0	13.1	0.9	15.0
40～49歳	19.0	17.1	1.9	18.7
50～59歳	18.1	16.5	1.6	17.1
60～69歳	17.7	14.6	3.1	14.1
70歳以上	23.3	27.3	▲ 4.0	24.3

(地域別構成)

北海道	4.3	4.3	0.0	4.1
東 北	7.1	7.0	0.1	6.8
関 東	32.4	34.5	▲ 2.1	34.4
北 陸	4.4	4.1	0.3	4.1
中 部	16.7	14.0	2.7	14.6
近 畿	16.6	16.2	0.4	16.1
中 国	5.2	5.7	▲ 0.5	5.6
四 国	2.4	3.0	▲ 0.6	2.6
九 州	11.0	11.2	▲ 0.2	11.6

(注) 住民基本台帳に記録された2022年1月1日現在の市区町村別人口による。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第93回)
—— 2023年3月調査 ——

・ 選択肢ごとに付記した数値は、有効回答者数を100としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数点以下第2位を四捨五入)。
 ・ 回答は、特に断りのない限り、択一。
 ・ 四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
 ・ () 内は、特に断りのない限り、前回調査結果(第92回、2022年12月実施)。

Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。

1	良くなった	6.8	(5.2)
2	変わらない	28.8	(27.1)
3	悪くなった	63.9	(67.0)

**Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。
【2つまでの複数回答】**

1	マスコミ報道を通じて	37.9	(36.6)
2	景気関連指標、経済統計をみて	16.0	(18.1)
3	勤め先や自分の店の経営状況から	28.3	(26.6)
4	自分や家族の収入の状況から	42.3	(41.0)
5	商店街、繁華街などの混み具合をみて	23.7	(23.0)
6	その他	6.8	(6.3)

Q3. 現在の景気をどう感じますか。

1	良い	0.2	(0.1)
2	どちらかと言えば、良い	3.4	(2.7)
3	どちらとも言えない	17.8	(19.3)
4	どちらかと言えば、悪い	50.9	(51.0)
5	悪い	27.3	(26.4)

Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなるとお考えですか。

1	良くなる	13.1	(9.1)
2	変わらない	45.9	(44.4)
3	悪くなる	40.3	(46.2)

Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。

1	金利が低すぎる	44.3	(51.9)
2	適当な水準である	34.7	(32.5)
3	金利が高すぎる	18.5	(13.9)

Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。

1	ゆとりが出てきた	3.8	(3.7)
2	どちらとも言えない	39.7	(42.4)
3	ゆとりがなくなってきた	56.0	(53.0)

**Q6-a. (Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方へ)
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】**

1	給与や事業などの収入が増えたから	60.5	(57.0)
2	利子や配当などの収入が増えたから	6.6	(3.8)
3	不動産の売却などの収入があったから	2.6	(2.5)
4	物価が下がったから	0.0	(1.3)
5	不動産・株式などの資産の価格が上がったから	9.2	(2.5)
6	扶養家族が減ったから	15.8	(20.3)
7	その他	21.1	(19.0)

Q6-b. (Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方へ)		
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】		
1 給与や事業などの収入が減ったから	37.1	(39.6)
2 利子や配当などの収入が減ったから	8.7	(10.8)
3 不動産の購入などの支出があったから	2.6	(3.0)
4 物価が上がったから	90.4	(88.4)
5 不動産・株式などの資産の価格が下がったから	4.2	(4.8)
6 扶養家族が増えたから	5.6	(5.3)
7 その他	9.6	(9.7)
Q7. 1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。		
1 増えた	11.1	(8.9)
2 変わらない	52.1	(51.3)
3 減った	36.3	(39.3)
Q8. 1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなと思いますか。		
1 増える	9.1	(7.6)
2 変わらない	57.2	(53.9)
3 減る	32.8	(37.7)
Q9. 1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。		
1 増えた	60.2	(52.7)
2 変わらない	26.1	(30.1)
3 減った	12.7	(16.2)
Q9-a. (Q9で1「増えた」と答えた方へ)		
支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】		
1 収入が増えたから	3.8	(4.8)
2 将来の収入増が見込まれるから	0.8	(0.8)
3 不動産など実物資産が値上がりしたから	1.7	(1.5)
4 株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.5	(1.3)
5 住宅など不動産を購入したから	3.4	(3.2)
6 車など耐久消費財を購入したから	11.3	(15.6)
7 教育関連の支出が増えたから	23.6	(24.1)
8 扶養家族の増加などに伴う支出があったから	9.4	(9.0)
9 生活関連の物やサービスの値段が上がったから	88.9	(86.1)
10 その他	6.6	(7.8)
Q9-b. (Q9で3「減った」と答えた方へ)		
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】		
1 収入が減ったから	70.2	(67.2)
2 将来の収入増が見込まれないから	51.2	(50.1)
3 不動産など実物資産が値下がりしたから	3.2	(2.3)
4 株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	6.0	(6.2)
5 扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから	9.9	(10.6)
6 生活関連の物やサービスの値段が下がったから	11.5	(9.4)
7 その他	11.1	(8.2)
Q10. Q9の支出の内訳についてお伺いします。		
(1) 1年前と比べて、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。		
1 増やしている	26.0	(20.4)
2 変えていない	44.9	(48.1)
3 減らしている	27.5	(30.5)
(2) 1年前と比べて、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。		
1 増やしている	8.0	(8.1)
2 変えていない	35.6	(37.3)
3 減らしている	55.4	(53.8)

Q11. 今後1年間の支出についてお伺いします。

(1) 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。

1 増やす	9.9	(7.1)
2 変えない	43.6	(44.7)
3 減らす	45.3	(47.2)

(2) あなたの世帯が今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、次のうちどれですか。
【複数回答】

1 収入の増減	51.1	(49.8)
2 貯蓄や株式、不動産など保有資産の増減	15.1	(17.2)
3 ローン返済の進捗状況	11.7	(11.5)
4 今後の物価の動向	70.2	(68.3)
5 余暇・休暇の増減	22.7	(22.0)
6 興味のある商品・サービスの有無	18.8	(21.3)
7 その他	3.5	(3.4)

(3) 今後1年間、商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、次のうちどれですか。
【3つまでの複数回答】

1 価格が安い	57.6	(58.6)
2 安全性が高い	42.3	(42.7)
3 信頼性が高い	38.1	(40.0)
4 機能が良い	30.6	(28.7)
5 長く使える	42.0	(43.7)
6 環境や社会に配慮している	10.5	(10.5)
7 デザインが良い	6.0	(5.6)
8 流行のものである	0.5	(0.7)
9 今までにない新しいものである	1.7	(1.9)
10 アフターサービスが充実している	12.3	(11.8)
11 好奇心が刺激される	3.6	(4.1)
12 健康に良い	18.8	(17.5)
13 ブランドイメージが良い	1.9	(1.9)
14 この中にはない	0.6	(0.4)

Q12. 次に、「物価」についてお伺いします。

あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことで)。

1 かなり上がった	62.8	(52.7)
2 少し上がった	31.7	(41.6)
3 ほとんど変わらない	3.2	(3.6)
4 少し下がった	0.6	(0.7)
5 かなり下がった	0.7	(0.7)

Q12-a. (Q12で1または2『上がった』と答えた方へ)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。

1 どちらかと言えば、好ましいことだ	3.2	(2.2)
2 どちらかと言えば、困ったことだ	87.4	(86.8)
3 どちらとも言えない	8.8	(10.7)

Q12-b. (Q12で4または5『下がった』と答えた方へ)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。

1 どちらかと言えば、好ましいことだ	4.0	(10.3)
2 どちらかと言えば、困ったことだ	64.0	(55.2)
3 どちらとも言えない	24.0	(20.7)

Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった

() %

下がった

平均値^(注1) : +14.6 (+12.1)

中央値^(注2) : +10.0 (+10.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

—— 全サンプルの単純平均値は +15.1(前回調査<2022/12月実施> : +12.9)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1 かなり上がる	33.1	(32.5)
2 少し上がる	52.6	(52.5)
3 ほとんど変わらない	10.9	(11.9)
4 少し下がる	2.1	(2.0)
5 かなり下がる	0.5	(0.4)

Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる

() %

下がる

平均値^(注1) : +11.1 (+9.7)

中央値^(注2) : +10.0 (+10.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

—— 全サンプルの単純平均値は +11.5(前回調査<2022/12月実施> : +10.5)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1 かなり上がる	35.7	(34.9)
2 少し上がる	39.7	(41.8)
3 ほとんど変わらない	15.6	(15.2)
4 少し下がる	6.5	(6.2)
5 かなり下がる	0.5	(0.3)

Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる

毎年、平均 () %

下がる

平均値^(注1) : +8.1 (+7.5)

中央値^(注2) : +5.0 (+5.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

—— 全サンプルの単純平均値は +8.6(前回調査<2022/12月実施> : +8.5)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうかと思いますか。				
1 上がる		32.8	(28.9)	
2 変わらない		41.8	(42.9)	
3 下がる		23.6	(26.9)	
Q19. 長い目で見るとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。				
1 より高い成長が見込める		1.7	(2.0)	
2 現状並みの成長が見込める		37.4	(34.2)	
3 より低い成長しか見込めない		59.6	(62.8)	
Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。				
				うち勤労者 ^(注)
1 あまり感じない	20.5	(22.3)	21.3	(24.9)
2 少し感じる	46.2	(45.6)	46.0	(43.6)
3 かなり感じる	30.6	(29.7)	32.2	(31.4)

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

Q21～22は家計の消費行動に関する質問です。
 ・ () 内の数値は、第91回(2022年9月実施)調査結果。

- Q21. (1) 1年前と比べて、あなたの世帯で支出(金額)を増やしたものを3つまで選び、(1)欄の番号に○をして下さい。
 ※ 支出を増やしたものが1つもない場合は、「16 支出を増やしたものはなし」を選び、Q22にお進み下さい。
 (2) (1)で選んだものそれぞれについて、その支出を増やした理由を教えてください。それぞれについて3つまでお選び下さい。

Q21. (1) 支出を増やしたもの【3つまでの複数回答】

Q21. (2) 支出を増やした理由【3つまでの複数回答】

		Q21. (2) 支出を増やした理由【3つまでの複数回答】										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		収入が増えた／収入増が見込まれるから	保有資産(不動産・金融商品など)の値上がりしたから	貯蓄が十分にある／増えたから	他の支出が減ったから	価格が下がったから	価格上昇が見込まれるから	興味のある商品・サービスがあったから	余暇・休暇が増えたから	必要に迫られた／買い替え時を迎えたから	その他	
1	住宅(家賃含む)	5.8 (6.1)	→ 9.6 (8.1)	→ 3.5 (6.5)	→ 3.5 (4.9)	→ 1.7 (0.8)	→ 1.7 (1.6)	→ 14.8 (10.6)	→ 5.2 (5.7)	→ 0.0 (0.8)	→ 56.5 (67.5)	→ 22.6 (19.5)
2	家具	3.1 (2.7)	→ 3.2 (7.3)	→ 1.6 (1.8)	→ 3.2 (5.5)	→ 4.8 (1.8)	→ 0.0 (9.1)	→ 1.6 (7.3)	→ 12.9 (5.5)	→ 1.6 (1.8)	→ 87.1 (83.6)	→ 4.8 (5.5)
3	家電	14.1 (19.1)	→ 2.1 (2.9)	→ 1.1 (0.0)	→ 1.4 (2.6)	→ 1.1 (1.6)	→ 2.5 (3.9)	→ 7.5 (7.3)	→ 12.1 (11.7)	→ 1.1 (0.8)	→ 90.4 (89.8)	→ 1.8 (3.4)
4	自動車(ガソリン等、維持費用は含まない)	13.5 (14.2)	→ 1.9 (2.1)	→ 1.9 (1.4)	→ 3.4 (3.5)	→ 1.9 (1.0)	→ 0.4 (1.4)	→ 26.5 (20.3)	→ 11.6 (7.7)	→ 3.0 (3.8)	→ 67.2 (71.3)	→ 6.3 (10.5)
5	宝飾品	0.5 (0.6)	→ 11.1 (15.4)	→ 11.1 (15.4)	→ 11.1 (23.1)	→ 22.2 (7.7)	→ 0.0 (0.0)	→ 22.2 (38.5)	→ 33.3 (46.2)	→ 11.1 (15.4)	→ 0.0 (15.4)	→ 11.1 (7.7)
6	衣服、履物類	8.2 (8.0)	→ 9.2 (9.9)	→ 0.6 (1.2)	→ 2.5 (2.5)	→ 6.7 (3.1)	→ 14.1 (9.3)	→ 12.3 (9.9)	→ 34.4 (31.1)	→ 3.7 (5.6)	→ 62.6 (59.6)	→ 5.5 (5.6)
7	書籍、新聞、雑誌	2.2 (3.1)	→ 9.1 (4.8)	→ 0.0 (3.2)	→ 2.3 (0.0)	→ 4.5 (3.2)	→ 0.0 (0.0)	→ 2.3 (3.2)	→ 52.3 (49.2)	→ 13.6 (25.4)	→ 20.5 (15.9)	→ 27.3 (14.3)
8	食料品	44.1 (38.0)	→ 1.9 (2.5)	→ 0.9 (0.5)	→ 0.9 (0.9)	→ 2.1 (6.3)	→ 1.4 (2.0)	→ 51.5 (44.5)	→ 6.6 (7.2)	→ 3.0 (4.7)	→ 43.3 (45.0)	→ 13.3 (13.2)
9	日用品(洗剤、雑貨等)	26.2 (22.4)	→ 1.0 (1.6)	→ 1.2 (0.7)	→ 0.4 (0.7)	→ 1.5 (2.2)	→ 1.0 (2.7)	→ 52.2 (47.2)	→ 4.6 (5.3)	→ 1.5 (2.9)	→ 48.6 (55.7)	→ 9.4 (8.6)
10	外食	10.2 (9.7)	→ 10.8 (15.5)	→ 0.5 (1.0)	→ 4.4 (4.6)	→ 4.9 (13.4)	→ 0.5 (0.0)	→ 22.2 (10.8)	→ 18.7 (19.1)	→ 19.7 (20.6)	→ 14.8 (20.1)	→ 33.5 (24.2)
11	保健医療サービス	10.1 (11.8)	→ 0.5 (1.3)	→ 1.0 (0.8)	→ 1.5 (1.3)	→ 3.0 (2.9)	→ 0.0 (0.4)	→ 6.0 (4.6)	→ 3.5 (8.8)	→ 1.5 (1.7)	→ 66.0 (64.3)	→ 27.0 (27.3)
12	通信費(電話<本体含む>、インターネット等)	8.8 (9.7)	→ 2.3 (1.5)	→ 0.6 (0.0)	→ 0.6 (0.5)	→ 1.7 (2.1)	→ 0.6 (0.5)	→ 12.6 (8.8)	→ 23.6 (21.1)	→ 5.2 (11.3)	→ 63.2 (64.9)	→ 12.1 (11.3)
13	旅行	8.4 (6.3)	→ 7.8 (12.6)	→ 1.2 (1.6)	→ 7.2 (13.4)	→ 3.6 (10.2)	→ 5.4 (7.1)	→ 3.0 (1.6)	→ 37.7 (29.1)	→ 43.1 (51.2)	→ 4.2 (3.9)	→ 29.3 (25.2)
14	教養娯楽サービス(塾、習い事、遊園地、映画館等)	11.4 (11.0)	→ 4.0 (3.6)	→ 0.4 (0.9)	→ 2.7 (3.2)	→ 2.2 (2.3)	→ 0.4 (0.5)	→ 3.1 (2.7)	→ 33.2 (31.2)	→ 10.6 (11.8)	→ 46.0 (51.6)	→ 24.8 (19.5)
15	その他	4.9 (4.4)	→ 4.1 (2.3)	→ 0.0 (4.5)	→ 1.0 (3.4)	→ 2.0 (2.3)	→ 2.0 (1.1)	→ 21.4 (8.0)	→ 12.2 (11.4)	→ 6.1 (10.2)	→ 45.9 (44.3)	→ 30.6 (30.7)
16	支出を増やしたものはなし	20.0 (22.4)										

- Q22. (1) 1年前と比べて、あなたの世帯で支出（金額）を減らしたものを3つまで選び、(1)欄の番号に○をして下さい。
- ※ 支出を減らしたものが1つもない場合は、「16 支出を減らしたものはなし」を選び、Q23にお進み下さい。
- (2) (1)で選んだものそれぞれについて、その支出を減らした理由を教えてください。それぞれについて3つまでお選び下さい。

Q22. (1) 支出を減らしたもの【3つまでの複数回答】

Q22. (2) 支出を減らした理由【3つまでの複数回答】

Q22. (1) 支出を減らしたもの【3つまでの複数回答】		Q22. (2) 支出を減らした理由【3つまでの複数回答】									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		収入が減った／収入減が見込まれるから	保有資産（不動産・金融商品など）が値下がりがりしたから	貯蓄が十分でない／減ったから	他の支出が増えたから	価格が上がったから	価格下落が見込まれるから	興味のある商品・サービスがなかったから	余暇・休暇が減ったから	必要がなくなった／既に買ったから	その他
1	住宅（家賃含む）	42.9 (31.8)	4.8 (2.3)	14.3 (27.3)	4.8 (15.9)	14.3 (11.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	4.8 (0.0)	14.3 (22.7)	28.6 (20.5)
2	家具	17.6 (13.2)	1.5 (3.8)	19.1 (24.5)	25.0 (28.3)	17.6 (5.7)	0.0 (1.9)	13.2 (17.0)	0.0 (0.0)	44.1 (43.4)	4.4 (5.7)
3	家電	25.8 (16.7)	0.0 (0.0)	19.4 (27.4)	20.4 (20.2)	21.5 (25.0)	1.1 (3.6)	14.0 (20.2)	0.0 (0.0)	37.6 (34.5)	2.2 (4.8)
4	自動車（ガソリン等、維持費用は含まない）	23.0 (25.0)	0.0 (1.0)	16.2 (25.0)	20.3 (12.5)	31.1 (26.0)	1.4 (1.9)	1.4 (3.8)	8.1 (2.9)	21.6 (38.5)	9.5 (10.6)
5	宝飾品	20.8 (23.2)	2.0 (4.0)	23.8 (28.3)	18.8 (31.3)	17.8 (8.1)	0.0 (1.0)	11.9 (17.2)	4.0 (3.0)	41.6 (37.4)	4.0 (3.0)
6	衣服、履物類	26.8 (32.9)	0.2 (1.2)	26.8 (21.9)	36.0 (28.5)	21.8 (17.3)	0.7 (0.6)	8.5 (11.7)	1.5 (5.2)	22.4 (28.3)	5.6 (6.7)
7	書籍、新聞、雑誌	19.9 (24.3)	0.0 (1.4)	22.1 (21.5)	47.8 (26.4)	9.6 (9.7)	0.0 (0.7)	16.9 (19.4)	2.2 (5.6)	22.8 (27.8)	2.9 (7.6)
8	食料品	35.0 (42.1)	1.0 (1.5)	27.4 (24.1)	16.8 (13.8)	63.5 (56.4)	0.5 (0.0)	2.5 (1.0)	0.0 (1.0)	4.6 (4.1)	6.1 (7.7)
9	日用品（洗剤、雑貨等）	35.2 (29.5)	1.1 (0.0)	22.7 (21.8)	18.2 (16.7)	54.5 (50.0)	0.0 (1.3)	2.3 (3.8)	0.0 (1.3)	8.0 (9.0)	9.1 (7.7)
10	外食	31.8 (32.6)	0.3 (0.9)	22.9 (22.1)	30.8 (23.6)	37.5 (21.8)	0.1 (0.3)	2.4 (3.0)	5.3 (4.7)	5.6 (5.3)	14.7 (30.2)
11	保健医療サービス	21.6 (26.9)	0.0 (0.0)	35.1 (28.8)	18.9 (11.5)	16.2 (13.5)	0.0 (0.0)	2.7 (13.5)	2.7 (1.9)	13.5 (28.8)	13.5 (17.3)
12	通信費（電話＜本体含む＞、インターネット等）	26.6 (35.9)	0.0 (1.4)	10.1 (17.2)	34.8 (22.8)	10.8 (10.3)	7.6 (6.9)	5.1 (6.9)	0.6 (0.7)	20.9 (17.9)	16.5 (17.2)
13	旅行	27.4 (30.0)	0.5 (1.2)	31.4 (24.4)	33.4 (20.2)	13.0 (9.0)	0.2 (0.3)	4.2 (3.3)	11.9 (11.0)	4.0 (4.8)	22.8 (40.1)
14	教養娯楽サービス（塾、習い事、遊園地、映画館等）	27.9 (35.9)	0.5 (2.3)	28.8 (30.0)	37.8 (22.3)	19.8 (10.0)	0.0 (0.0)	12.2 (5.0)	8.6 (8.6)	8.6 (11.8)	15.3 (24.5)
15	その他	27.6 (18.2)	0.0 (0.0)	20.7 (13.6)	17.2 (4.5)	24.1 (13.6)	0.0 (0.0)	3.4 (9.1)	6.9 (4.5)	6.9 (18.2)	34.5 (36.4)
16	支出を減らしたものはなし	22.5 (24.0)									

Q23～27は家計の決済行動などに関する質問です。
・（ ）内の数値は、第91回（2022年9月実施）調査結果。

Q23. 平均的にみて財布にはどれぐらい現金を入れていることが多いですか。

1 1千円未満	1.5	(1.6)
2 1千円以上～2千円未満	3.4	(3.3)
3 2千円以上～5千円未満	15.3	(14.4)
4 5千円以上～1万円未満	29.4	(30.1)
5 1万円以上～2万円未満	28.5	(28.0)
6 2万円以上～3万円未満	12.4	(12.7)
7 3万円以上～5万円未満	6.0	(6.2)
8 5万円以上	3.2	(2.9)

Q24. 半年前（2022年8月～9月頃）に比べて現金利用の頻度はどう変わりましたか。

1 増えた	7.0	(8.0)
2 変わらない	48.9	(51.6)
3 減った	43.5	(39.7)

Q25. 日常生活で使っている現金以外の決済手段は何ですか。【複数回答】

1 クレジットカード	68.2	(67.5)
2 デビットカード ^(注1)	3.5	(3.9)
3 タッチ式の電子マネー（交通機関での利用を除く）	30.5	(40.5) ^(注3)
4 バーコード・QRコード決済	37.1	(29.3)
5 プリペイドカード	7.1	(8.0)
6 代金引換	7.3	(8.1)
7 コンビニなどでの収納代行	15.4	(16.4)
8 金融機関窓口やATMからの振込	13.3	(15.5)
9 インターネット・モバイルバンキングでの振込 ^(注2)	10.9	(9.4)
10 金融機関口座からの自動引落	32.0	(32.3)
11 その他	0.8	(0.7)
12 現金以外は使わない	8.7	(9.3)

(注1) 買い物等の際、銀行で発行されたカードを提示して支払うと、預金口座から支払代金がすぐに引き落とされる仕組み。利用するカードとしては、「クレジットブランドのマークがついているデビットカード」と「銀行のキャッシュカード」の2種類があります。

(注2) パソコンや携帯電話・スマートフォン（含むアプリ）を用いて受けられる銀行の振込サービス。

(注3) 2022年9月調査の選択肢は「電子マネー（読み取り機をタッチするもので交通機関での利用を除く）」。

Q25-a. (Q25で1～11のいずれかを選んだ方へ)

現金以外の決済手段を利用する理由は何ですか。【複数回答】

1 現金をATMから引き出すことや持ち歩くことなどの手間が省ける	43.8	(44.1)
2 支払いが速くて簡単	63.3	(64.2)
3 利用明細や履歴を照会できる	26.6	(24.8)
4 ポイントや割引などの便益がある	67.8	(65.0)
5 後払い、分割払い、ボーナス払いなどが利用できる	12.4	(11.7)
6 現金が利用できない店舗やインターネット購入で利用できる	20.0	(20.7)
7 その他	2.9	(3.4)

Q25-b. (Q25で1～11のいずれかを選んだ方へ)

現金以外の決済手段について、今後、もっと使いたくなる改善点は何ですか。【複数回答】

1 ひとつの決済手段で様々な場面(店舗、レストラン、運賃等)で支払いができる	44.3	(41.1)
2 使い方がわかりやすく簡単	35.3	(37.0)
3 他人による不正利用の心配がない	53.0	(53.7)
4 個人情報適切に管理される	45.0	(46.5)
5 サービスを提供する企業等が信用できる	21.8	(22.0)
6 ポイントや割引などの便益が高い	57.5	(54.9)
7 停電時や通信状態が悪い時でも使用できる	26.2	(28.6)
8 その他	2.1	(1.9)

Q26. 日常生活の支払いに現金を利用する理由は何ですか。【複数回答】		
1 多くの場所で利用できる	45.4	(46.6)
2 信頼性が高い	17.5	(18.8)
3 支払いが簡単	22.7	(24.3)
4 その場で支払いが完了する	44.8	(48.5)
5 手数料などのコストがかからない	18.9	(21.7)
6 使い過ぎる心配が少ない	39.6	(40.3)
7 匿名性が高い	8.1	(7.6)
8 その他	2.7	(2.1)
9 日常的に現金は使わない(現金しか使えない場所では使う)	15.0	(14.0)
Q27. 「中央銀行デジタル通貨 (CBDC) 」という言葉をご存知ですか。		
1 知っている	2.6	(3.8)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない	18.1	(18.9)
3 見聞きしたことがない	77.9	(75.9)

Q28～30は日本銀行の金融政策に関する質問です。

Q28. 日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げていることをご存知ですか。		
1 知っている	26.0	(25.6)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない	30.1	(32.8)
3 見聞きしたことがない	43.0	(41.0)
Q29. 上記目標の実現のため、日本銀行が積極的な金融緩和を行っていることをご存知ですか。		
1 知っている	32.4	(41.8)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない	34.2	(37.4)
3 見聞きしたことがない	32.6	(20.1)
Q30. 具体的には、現在、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っていることをご存知ですか。		
1 知っている	16.7	(22.9)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない	32.0	(36.1)
3 見聞きしたことがない	50.4	(40.6)

Q31は税金や年金保険料の支払いに関する質問です。
・ () 内の数値は、第89回 (2022年3月実施) 調査結果。

Q31. 税金や年金保険料の支払いには複数の方法があります。あなたが知っているのは、次のうちどれですか。【複数回答】		
1 金融機関の窓口	76.3	(71.8)
2 コンビニエンスストア、スーパーマーケットでの支払い	69.4	(66.5)
3 クレジットカード	33.3	(32.7)
4 口座振替	68.8	(68.6)
5 ペイジー (Pay-easy) ^(注)	15.0	(12.3)
6 いずれも見聞きしたことがない	3.5	(3.1)

(注) 税金・年金保険料・公共料金・各種料金などの支払いをパソコン・スマートフォン・ATMから支払うことができるサービス。

Q31-a. (Q31で5「ペイジー (Pay-easy)」と答えた方へ)		
「ペイジー」をどのような機会・媒体を通じて知りましたか。【複数回答】		
1 税務署・年金事務所などから送付される納付書、案内書類等	64.8	(66.0)
2 税務署・年金事務所などの窓口での説明、ポスター・チラシ等	14.4	(9.3)
3 日本銀行のホームページ	1.3	(0.0)
4 官庁のホームページ	3.7	(2.2)
5 金融機関の窓口での説明、ポスター・チラシ等	26.5	(25.4)
6 その他	9.4	(14.9)
Q31-b. (Q31で5「ペイジー (Pay-easy)」と答えた方へ)		
「ペイジー」で税金や年金保険料を支払ったことがありますか。		
1 はい	37.9	(35.4)
2 いいえ	62.1	(63.8)
Q31-c. (Q31-bで2「いいえ」と答えた方へ)		
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】		
1 自分で税金や年金保険料を支払う機会がないから	35.1	(38.0)
2 ペイジーで支払うための事前手続きが面倒だから	22.2	(18.1)
3 ペイジーが利用可能なATMが近くにないから	1.6	(1.8)
4 パソコン・スマートフォンなどの機器類の操作に不安があるから	3.8	(4.7)
5 コンビニエンスストア、スーパーマーケットや金融機関に行く用事がありそのときにあわせて支払っているから	37.8	(43.9)
6 金融機関窓口で支払うのが一番安心だから	11.4	(9.4)
7 その他	9.2	(7.0)

あなたご自身のことやご家族のことなどについてお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するうえで重要な情報です。ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

Q32. あなたの性別は次のどちらですか。		
1 男性	48.5	(48.8)
2 女性	51.5	(51.2)
Q33. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。		
1 20～29歳	7.9	(8.2)
2 30～39歳	14.0	(12.7)
3 40～49歳	19.0	(16.7)
4 50～59歳	18.1	(18.5)
5 60～69歳	17.7	(16.4)
6 70歳以上	23.3	(27.6)
Q34. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。		
1 農林漁業	2.0	(1.3)
2 自営業・自由業	8.0	(6.9)
3 常雇（会社員・公務員など<会社役員を含む>）	41.0	(38.9)
4 臨時・日雇（パート・アルバイト）	16.9	(17.0)
5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など）	31.5	(35.3)
Q35. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。		
1 1円～300万円未満	35.1	(35.3)
2 300万円～500万円未満	28.5	(27.3)
3 500万円～1,000万円未満	24.7	(25.6)
4 1,000万円以上	7.8	(7.4)
5 収入はない	3.0	(3.1)

Q36. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。

1 単身世帯（一人暮らし）	11.8	（ 14.7 ）
2 1世代世帯（夫婦のみ）	27.7	（ 28.1 ）
3 2世代世帯（親と子の世帯）	50.2	（ 47.4 ）
4 3世代世帯（祖父・祖母と親と子の世帯）	7.6	（ 7.4 ）
5 その他（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など）	2.2	（ 2.0 ）

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

1 記入あり	16.9	（ 21.8 ）
2 記入なし	83.1	（ 78.2 ）